前　　金	部　分　払
有	一　　回

令　　和　　6　　年　　度

下　工　公　補　　第　　1　　7　　号

津北部第１５－２処理分区公共下水道工事設計書

工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書及び工事監督員の指示による。

津　　市

上下水道事業局下水道工務課

令和６年度	下工公補　　第１７号	工　事　設　計　書		
施工場所	津市観音寺町及び鳥居町地内		局長	
			担当参事(兼)課長	
工 事 名	津北部第１５－２処理分区公共下水道工事		検算者	
			調整担当主幹	
設 計 額	（うち消費税等相当額　　）		担当主幹	
			担当副主幹	
工　　期	契約締結日から２３５日限り		設計者	
長	－	巾	－	

工　事　の　大　要

管布設工(管径７５～１５０㎜)　340 m　　ます設置工　19 箇所

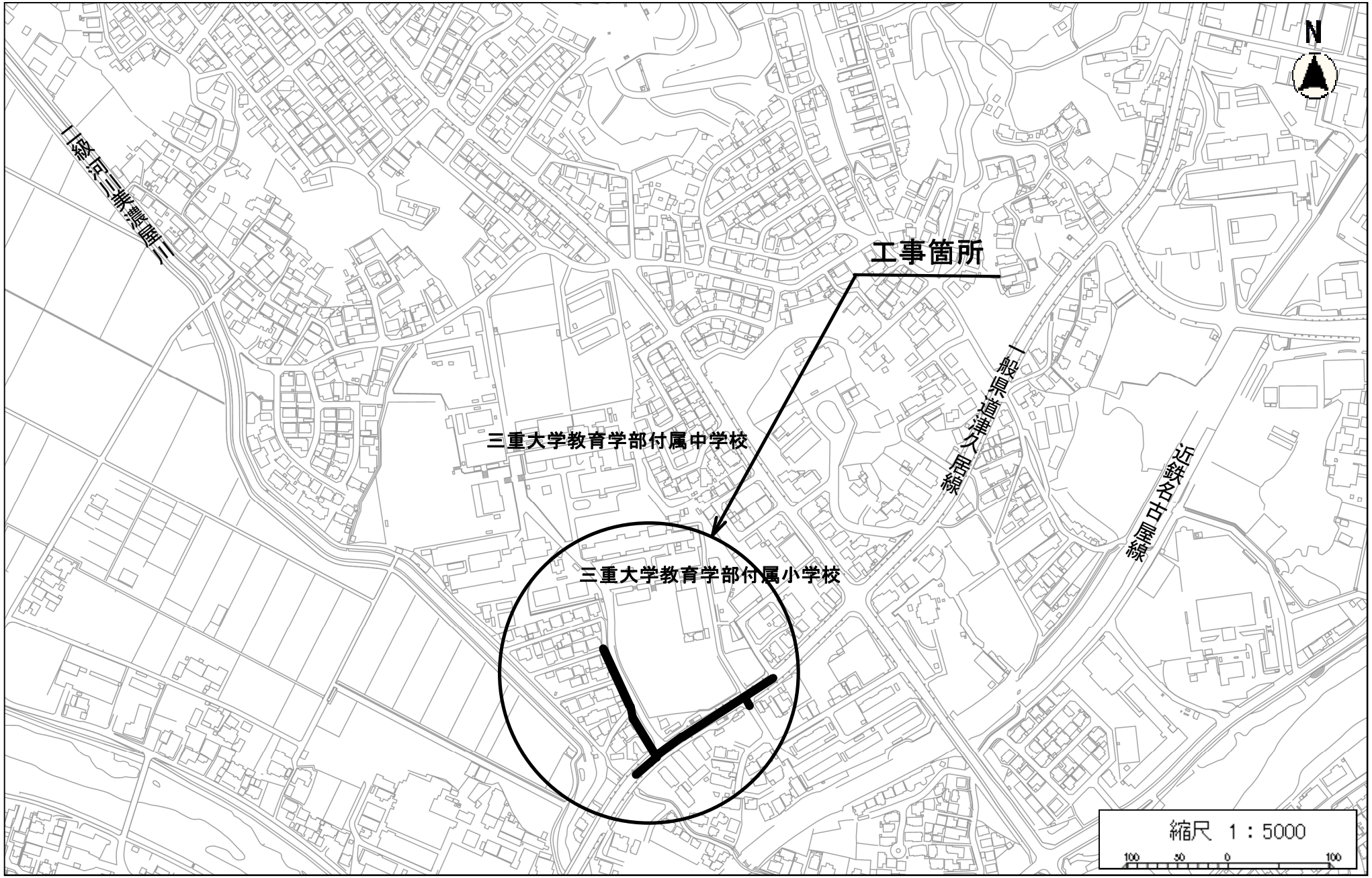
管推進工(管径２００～３００㎜)　20.6 m

組立マンホール工　10 箇所

小型マンホール工　3 箇所

位　置　図

令和６年度下工公補第17号
津北部第15-2処理分区公共下水道工事



工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（補助）		式		1		
管きょ工(開削)（リブ管150㎜）（昼間（8時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		60		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		40		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		60		
管布設工		式		1		
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	φ150	m		37		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	W=150 2倍	m		37		
継手類		式		1		
管基礎工		式		1		
砕石基礎	RC-40	m3		11		
管路土留工		式		1		
軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	m		38		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	m		38		
軽量鋼矢板賃料	H=2.0m	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
土留支保(軽量金属支保)設置	１段	m		38		
土留支保(軽量金属支保)撤去	１段	m		38		
支保材賃料（腹起し）		式		1		
支保材賃料（水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ）		式		1		
支保材賃料（水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）		式		1		
管きょ工(開削)（リブ管150㎜）（夜間（8時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		120		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		90		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		120		
管布設工		式		1		
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	φ150	m		64		
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	W=150 2倍	m		64		
継手類		式		1		
管基礎工		式		1		
砕石基礎	RC-40	m3		19		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土留工		式		1		
軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	m		33		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	m		33		
軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	m		32		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	m		32		
軽量鋼矢板建込	掘削深3.5m以下	m		3		
軽量鋼矢板引抜	掘削深3.5m以下	m		3		
軽量鋼矢板賃料	H=2.0m	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1		
軽量鋼矢板賃料	H=3.0m	式		1		
軽量鋼矢板賃料	H=4.0m	式		1		
土留支保(軽量金属支保)設置	1段	m		33		
土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	m		33		
土留支保(軽量金属支保)設置	2段	m		35		
土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	m		35		
支保材賃料（腹起し）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料（水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ）		式		1		
支保材賃料（水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）		式		1		
管きょ工(開削)（圧送管VPφ75mm）（夜間(8時間)）		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		50		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		20		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		50		
管布設工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	φ75	m		93		
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	W=150 2倍	m		86		
継手類		式		1		
硬質塩化ビニル管　RR継手	離脱防止金具使用する	口		27		
硬質塩化ビニル管　RR継手	離脱防止金具使用しない	口		14		
鋳鉄管布設	φ75	m		0.3		
鋼管布設	80A	m		0.7		
可とう管設置		基		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
空気弁設置	φ75　7.5K	基		1		
メカニカル継手		口		3		
フランジ継手		口		2		
圧送管材料		式		1		
管基礎工		式		1		
砂基礎		m3		16		
管きょ工(小口径推進)＜管径200㎜＞＜鋼製さや管工法＞(52-3路線)(夜間(8時間))　IP.3←IP.4		式		1		
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
推進用鋼管	SPφ200	m		7.5		
発生土処理	汚泥吸排車	m3		0.3		
挿入用塩ﾋﾞ管	VPφ75	m		7.5		
中込注入		m3		0.2		
立坑内管布設		m		0.4		
仮設備工(小口径)		式		1		
鏡切	小型立坑（鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ）	箇所		2		
推進設備	据付･撤去	箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
中詰注入設備		箇所		1		
管きょ工(小口径推進)＜管径200㎜＞＜鋼製さや管工法＞(52-3路線)(夜間(8時間)　IP.9→IP.9+7.20 上段		式		1		
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工		式		1		
推進用鋼管	SPφ200	m		6		
発生土処理	汚泥吸排車	m3		0.2		
挿入用塩ﾋﾞ管	VPφ75	m		6		
中込注入		m3		0.2		
立坑内管布設		m		0.1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
仮設備工(小口径)		式		1		
鏡切	軽量鋼矢板立坑	箇所		2		
推進設備	据換	箇所		1		
中詰注入設備		箇所		1		
仮設ステージ		式		1		
管きょ工(小口径推進)＜管径300㎜＞＜鋼製さや管工法＞(52-2路線)(夜間(8時間)) IP.9+7.20→M52-2-1下		式		1		
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工		式		1		
推進用鋼管	SPφ300	m		7.1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
発生土処理	汚泥吸排車	m3		0.5		
挿入用塩ﾋﾞ管	VUφ150	m		7.1		
中込注入		m3		0.4		
立坑内管布設		m		0.8		
仮設備工(小口径)		式		1		
鏡切	軽量鋼矢板立坑	箇所		1		
推進設備	据換	箇所		1		
中詰注入設備工		箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
立坑工（鋼製立坑）IP.3（φ1500）（夜間(８時間)）		式		1		
管路土工		式		1		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)RC-40	m3		9		
砂基礎		m3		0.3		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		10		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ式土留工及び土工		式		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ圧入掘削	呼び径1500	箇所		1		
底部ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25（20）・RC-40	箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
圧入掘削設備	呼び径1500	箇所		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ存置	呼び径1500	式		1		
円形覆工板		箇所		1		
立坑工（鋼製立坑）IP.4（φ1500）（夜間(8時間)）		式		1		
管路土工		式		1		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)RC-40	m3		10		
砂基礎		m3		0.3		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		10		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ式土留工及び土工		式		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ圧入掘削	呼び径1500	箇所		1		
底部ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25（20）・RC-40	箇所		1		
圧入掘削設備	呼び径1500	箇所		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ存置	呼び径1500	式		1		
円形覆工板		箇所		1		
立坑工（鋼製立坑）M52-3-1（φ1500）(夜間(8時間))		式		1		
管路土工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋戻コンクリート	18-8-40BB	m3		3		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)RC-40	m3		1		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		9		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ式土留工及び土工		式		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ圧入掘削	呼び径1500	箇所		1		
底部ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-25（20）・RC-40	箇所		1		
圧入掘削設備	呼び径1500	箇所		1		
鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ存置	呼び径1500	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
仮設ｹｰｼﾝｸﾞ損料	呼び径1500	式		1		
円形覆工板		箇所		1		
立坑工（軽量鋼矢板立坑）IP.9（□1350×1350）(夜間(8時間))		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		6		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)RC-40	m3		4		
砂基礎		m3		0.1		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		6		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
土留工		式		1		
軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下 排対(2次)山積0.28 m3（平0.2m3）	m		3		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下 ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧 伸縮 ｼﾞﾌﾞ型4.9t吊	m		3		
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1		
軽量鋼矢板部分撤去・未撤去		式		1		
土留支保（軽量金属支保）設置	2段	m		3		
土留支保（軽量金属支保）撤去	2段	m		3		
支保材賃料（水圧式四面梁腹起し）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料（水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）		式		1		
管路路面覆工		式		1		
覆工板		式		1		
立坑工（軽量鋼矢板立坑）IP.9+7.20（□1850×1650）（夜間(8時間)）		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		10		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)　RC-40	m3		10		
砂基礎		m3		0.3		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		10		
土留工		式		1		
軽量鋼矢板建込	掘削深3.8m以下 排対(2次)山積0.28m3（平0.2m3）	m		4		
軽量鋼矢板引抜	掘削深3.8m以下 ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧 伸縮ｼﾞﾌﾞ型4.9t吊	m		4		
軽量鋼矢板賃料	H=4.0m	式		1		
軽量鋼矢板部分撤去・未撤去		式		1		
土留支保（軽量金属支保）設置	3段	m		4		
土留支保（軽量金属支保）撤去	3段	m		4		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
支保材賃料（水圧式四面梁腹起し）		式		1		
支保材賃料（水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）		式		1		
立坑基礎コンクリート	18-8-25BB	m3		0.5		
管路路面覆工		式		1		
覆工板		式		1		
ﾏﾝﾎｰﾙ工（昼間（８時間））		式		1		
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
組立1号レジンマンホール		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
小型ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
小型ﾏﾝﾎｰﾙ		式		1		
ﾏﾝﾎｰﾙ工（夜間（８時間））		式		1		
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
組立1号マンホール		式		1		
組立1号レジンマンホール		式		1		
内副管		式		1		
取付管およびます工（昼間（８時間））		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工		式		1		
管路掘削	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		6		
管路掘削	土砂　現場制約あり	m3		2		
管路埋戻	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		3		
管路埋戻	流用土　現場制約あり	m3		1		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		6		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級	m3		0.5		
ます設置工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ます（塩ビ製）	φ200	箇所		3		
取付管布設工		式		1		
取付管（塩ビ管）	φ100	箇所		3		
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		9		
取付管およびます工（夜間（８時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		40		
管路掘削	土砂　現場制約あり	m3		4		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路埋戻	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		20		
管路埋戻	流用土　現場制約あり	m3		3		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		40		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級	m3		1		
ます設置工		式		1		
ます（塩ビ製）	φ200	箇所		6		
取付管布設工		式		1		
取付管（塩ビ管）	φ100	箇所		6		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		58		
付帯工（昼間（８時間））		式		1		
舗装版破砕工（本復旧）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		13		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		236		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		11		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		11		
舗装版破砕工（本管・取付管）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		92		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		44		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		2		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		2		
舗装復旧準備工（本復旧）		式		1		
不陸整正	補足材有り;補足材種類・規格再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40;補足材整正厚9mm以上13mm未満	m2		236		
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚50mm;平均幅員3.0m超	m2		236		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚220mm	m2		40		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚30mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) IP.9+7.20	m2		44		
区画線工		式		1		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分矢印･記号･文字 15cm換算;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		19		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分ｾﾞﾌﾞﾗ 30cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		2		
付帯工（夜間（８時間））		式		1		
舗装版破砕工（本復旧）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150㎜以下	m		12		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		14		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		0.4		
殻運搬（路面切削）	殻種別舗装版破砕	m3		45		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		46		
舗装版破砕工（二次復旧）		式		1		
掘削		m3		30		
発生土処理		m3		30		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150㎜以下	m		280		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		212		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		14		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		14		
舗装版破砕工（本管・取付管）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150㎜以下	m		360		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		146		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		14		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		14		
インターロッキングブロック撤去	再利用撤去　ブロック厚 8cm 100m2未満　夜間	m2		14		
舗装版破砕工（立坑）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		18		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		17		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		1		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		1		
舗装復旧準備工（本復旧）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
不陸整正	補足材有り;補足材種類･規格再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40;補足材整正厚9mm以上13mm未満	m2		14		
舗装復旧準備工（二次復旧）		式		1		
不陸整正	補足材無し	m2		212		
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1		
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	厚8cm	m2		14		
切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度As（20）　ｔ=5cm	m2		904		
舗装目地復旧		m		12		
アスファルト舗装復旧工(二次復旧)		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上層路盤(歩道部)	路盤材種類粒度調整砕石 M-30;仕上り厚100mm	m2		212		
基層(車道・路肩部)	材料種類再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満	m2		212		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満	m2		212		
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚220mm	m2		5		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚230mm	m2		17		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚290mm	m2		135		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚30mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		23		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		140		
舗装仮復旧工(立坑)		式		1		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚220mm	m2		7		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚290mm	m2		9		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚30mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		7		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		9		
区画線工		式		1		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分実線 15cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		28		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分破線 15cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		27		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		44		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分矢印･記号･文字 15cm換算;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		100		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分矢印･記号･文字 15cm換算;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		20		
高視認性区画線	施工方法区分ﾘﾌﾞ式(溶融式);規格･仕様区分実線 15cm	m		150		
附帯工		式		1		
電線管		式		1		
仮設工（昼間（８時間））		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（補助）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		人日		29		
仮設工（夜間（８時間））		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		人日		214		
直接工事費		式		1		
共通仮設		式		1		
共通仮設費		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		台		2		
仮設材運搬費		式		1		
仮設材等積込み取卸し		式		1		
役務費		式		1		
コンクリート割増料金		式		1		
技術管理費		式		1		
本管TV調査	昼間	m		37		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
本管TV調査	夜間	m		64		
通水試験		m		108		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
スクラップ控除額		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路（単独）		式		1		
管きょ工(開削)（リブ管150㎜）（昼間（8時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		70		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		40		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		70		
管布設工		式		1		
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	φ150	m		66		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	W=150 2倍	m		66		
継手類		式		1		
管基礎工		式		1		
砕石基礎	RC-40	m3		18		
管きょ工(開削)（リブ管150mm）（夜間（8時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		150		
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		100		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		150		
管布設工		式		1		
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	φ150	m		82		
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	W=150 2倍	m		82		
継手類		式		1		
管基礎工		式		1		
砕石基礎	RC-40	m3		25		
管路土留工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	m		56		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	m		56		
軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	m		29		
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	m		29		
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1		
軽量鋼矢板賃料	H=3.0m	式		1		
土留支保(軽量金属支保)設置	1段	m		56		
土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	m		56		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
土留支保(軽量金属支保)設置	2段	m		29		
土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	m		29		
支保材賃料（腹起し）		式		1		
支保材賃料（水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ）		式		1		
支保材賃料（水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ）		式		1		
ﾏﾝﾎｰﾙ工（昼間（８時間））		式		1		
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
組立1号レジンマンホール		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
内副管		式		1		
小型ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
小型ﾏﾝﾎｰﾙ		式		1		
ﾏﾝﾎｰﾙ工（夜間（８時間））		式		1		
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
組立1号マンホール		式		1		
内副管		式		1		
取付管およびます工（昼間（８時間））		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路土工		式		1		
管路掘削	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		2		
管路掘削	土砂　現場制約あり	m3		3		
管路埋戻	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		0.8		
管路埋戻	流用土　現場制約あり	m3		2		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		2		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級	m3		0.7		
ます設置工		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ます（塩ビ製）	φ200	箇所		4		
取付管布設工		式		1		
取付管（塩ビ管）	φ100	箇所		4		
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		4		
取付管およびます工（夜間（８時間））		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		30		
管路掘削	土砂　現場制約あり	m3		4		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路埋戻	排対（2次）山積0.28m3（平0.2m3）	m3		20		
管路埋戻	流用土　現場制約あり	m3		3		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級	m3		30		
発生土処理	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級	m3		1		
ます設置工		式		1		
ます（塩ビ製）	φ200	箇所		6		
取付管布設工		式		1		
取付管（塩ビ管）	φ100	箇所		6		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識シート	W=150 2倍	m		41		
付帯工（昼間（８時間））		式		1		
舗装版破砕工（本復旧）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		17		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		314		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		15		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		15		
舗装版破砕工（本管・取付管）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		140		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		55		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		3		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		3		
舗装復旧準備工（本復旧）		式		1		
不陸整正	補足材有り;補足材種類・規格再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40;補足材整正厚9mm以上13mm未満	m2		314		
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚50mm;平均幅員3.0m超	m2		314		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚220mm	m2		55		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚30mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) IP.9+7.20	m2		55		
付帯工（夜間（８時間））		式		1		
舗装版破砕工（本復旧）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		4		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		13		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		0.4		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻運搬（路面切削）	殻種別舗装版破砕	m3		19		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		19		
舗装版破砕工（二次復旧）		式		1		
掘削		m3		20		
発生土処理		m3		20		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150㎜以下	m		150		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		136		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		9		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		9		
舗装版破砕工（本管・取付管）		式		1		
舗装版切断	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版;舗装厚150mm以下	m		210		
舗装版破砕	舗装版種別ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m2		99		
殻運搬	殻種別舗装版破砕	m3		10		
殻処分	殻種別ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		10		
インターロッキングブロック撤去	100m2未満 夜間	m2		13		
舗装復旧準備工（本復旧）		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
不陸整正	補足材有り;補足材種類･規格再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40;補足材整正厚9mm以上13mm未満	m2		13		
舗装復旧準備工（二次復旧）		式		1		
不陸整正	補足材無し	m2		136		
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1		
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	厚8cm	m2		13		
切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度As（20）　ｔ=5cm	m2		370		
舗装目地復旧		m		5		
アスファルト舗装復旧工(二次復旧)		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上層路盤(歩道部)	路盤材種類粒度調整砕石 M-30;仕上り厚100mm	m2		136		
基層(車道・路肩部)	材料種類再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満	m2		136		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満	m2		136		
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚230mm	m2		13		
下層路盤(歩道部)	路盤材種類再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40;仕上り厚290mm	m2		90		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚30mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		13		
表層(車道・路肩部)	材料種類再生密粒度ｱｽｺﾝ(13);舗装厚50mm;平均幅員1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		99		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
区画線工		式		1		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分実線 15cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		38		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分破線 15cm;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		12		
溶融式区画線	施工方法区分溶融式手動;規格･仕様区分矢印･記号･文字 15cm換算;塗布厚厚1.5mm;排水性舗装無し	m		48		
仮設工（昼間（８時間））		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		人日		38		
仮設工（夜間（８時間））		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	管路（単独）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員		人日		78		
直接工事費		式		1		
共通仮設		式		1		
共通仮設費		式		1		
事業損失防止施設費		式		1		
試掘調査	昼間	箇所		4		
試掘調査	夜間　φ1500ケーシング部	箇所		3		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
試掘調査	夜間　県道部	箇所		4		
試掘調査	夜間　インターロッキングブロック部	箇所		1		
技術管理費		式		1		
土質等試験		式		1		
本管TV調査	昼間	m		66		
本管TV調査	夜間	m		82		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和６年度下工公補第１７号 津北部第１５－２処理分区公共下水道工事	当初	事業区分	下水道
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

令和６年度下工公補第１７号

津北部第１５ - ２処理分区公共下水道工事

数　量　総　括　表

（補助対象工事）

ﾚﾍﾞﾙ1　：　管路

ﾚﾍﾞﾙ1　：　共通仮設

ﾚﾍﾞﾙ1　：　スクラップ評価額

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(昼間(8時間))							
	管路土工						
		管路掘削	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	57.64	m3	57.6
		管路埋戻	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	38.57	m3	38.6
		発生土処理	4t積	管路掘削数量より	57.64	m3	57.6
	管布設工						
		リブ付硬質塩化ビニル管	φ150mm	管布設工数量計算表より	36.80	m	36.8
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	36.80	m	36.8
		継手類		管布設工数量計算表より	1.00	式	1.0
	管基礎工						
		砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	11.09	m3	11.1
	管路土留工						
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	38.10	m	38.1
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	38.10	m	38.1
		軽量鋼矢板賃料	H=2.0m		1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	1段	管路土留工数量計算表より	38.10	m	38.1

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	管路土留工数量計算表より	38.10	m	38.1
		支保材賃料(腹起し)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)			1.00	式	1.0
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間(8時間))							
	管路土工						
		管路掘削	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	123.43	m3	123.4
		管路埋戻	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	87.38	m3	87.4
		発生土処理	4t積	管路掘削数量より	123.43	m3	123.4
	管布設工						
		リブ付硬質塩化ビニル管	φ150mm	管布設工数量計算表より	64.10	m	64.1
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	64.10	m	64.1
		継手類		管布設工数量計算表より	1.00	式	1.0
	管基礎工						
		砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	19.07	m3	19.1

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
	管路土留工						
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	32.90	m	32.9
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	32.90	m	32.9
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	31.80	m	31.8
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	31.80	m	31.8
		軽量鋼矢板建込	掘削深3.5m以下	管路土留工数量計算表より	3.20	m	3.2
		軽量鋼矢板引抜	掘削深3.5m以下	管路土留工数量計算表より	3.20	m	3.2
		軽量鋼矢板賃料	H=2.0m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=4.0m		1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	１段	管路土留工数量計算表より	32.90	m	32.9
		土留支保(軽量金属支保)撤去	１段	管路土留工数量計算表より	32.90	m	32.9
		土留支保(軽量金属支保)設置	２段	管路土留工数量計算表より	35.00	m	35.0
		土留支保(軽量金属支保)撤去	２段	管路土留工数量計算表より	35.00	m	35.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		支保材賃料(腹起し)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)			1.00	式	1.0
管きょ工(開削)(圧送管VP75mm)(夜間(8時間))							
	管路土工						
		管路掘削	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	53.98	m3	54.0
		管路埋戻	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	23.75	m3	23.8
		発生土処理	4t積	管路土工数量計算表より	53.98	m3	54.0
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管	φ75mm	圧送管集計表より	92.53	m	92.5
		埋設標識テープ	W=150 2倍	圧送管集計表より	85.45	m	85.5
		継手類		圧送管集計表より	1.00	式	1.0
		硬質塩化ビニル管　RR継手	φ75mm	離脱防止金具使用する	27	口	27
		硬質塩化ビニル管　RR継手	φ75mm	離脱防止金具使用しない	14	口	14
		鋳鉄管布設	φ75mm		0.07	m	0.07
		鋼管布設	80A		0.67	m	0.7

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		可とう管設置			1.00	基	1.0
		空気弁設置	φ75mm　7.5K	単位数量計算書より	1.00	基	1.0
		メカニカル継手			3.00	口	3.0
		フランジ継手			3.00	口	3.0
		圧送管材料			1.00	式	1.0
	管基礎工	砂基礎	機械	管路土工数量計算表より	15.85	m3	15.9
管きょ工（小口径推進）〈管径200mm〉〈鋼製さや管工法〉（52-3路線）（夜間（8時間））							
	鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ（一重ケーシング）推進工						
		推進用鋼管	SP200	小口径推進数量計算書（詳細）より	7.50	m	7.5
		発生土処理		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.25	m3	0.3
		挿入用塩ビ管	VPφ75	小口径推進数量計算書（詳細）より	7.50	m	7.5
		中込注入	閉塞含む	小口径推進数量計算書（詳細）より	0.20	m3	0.2
		立坑内管布設		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.35	m	0.4
	仮設備工（小口径）	鏡切			2.00	箇所	2.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		推進設備	据付・撤去		1.00	箇所	1.0
		中詰注入設備			1.00	箇所	1.0
管きょ工（小口径推進）〈管径200mm〉〈鋼製さや管工法〉（52-3路線）（夜間（8時間））							
	鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ（一重ケーシング）推進工						
		推進用鋼管	SP200	小口径推進数量計算書（詳細）より	5.96	m	6.0
		発生土処理		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.20	m3	0.2
		挿入用塩ビ管	VPφ75	小口径推進数量計算書（詳細）より	5.96	m	6.0
		中込注入	閉塞含む	小口径推進数量計算書（詳細）より	0.16	m3	0.2
		立坑内管布設		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.09	m	0.1
	仮設備工（小口径）						
		鏡切			2.00	箇所	2.0
		推進設備	据換		1.00	箇所	1.0
		中詰注入設備			1.00	箇所	1.0
		仮設ステージ		単位数量計算書より	1.00	式	1.0
管きょ工（小口径推進）〈管径300mm〉〈鋼製さや管工法〉（52-2路線）（夜間（8時間））							
	鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ（一重ケーシング）推進工						
		推進用鋼管	SP300	小口径推進数量計算書（詳細）より	7.13	m	7.1

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		発生土処理		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.52	m3	0.5
		挿入用塩ビ管	VUφ150	小口径推進数量計算書（詳細）より	7.13	m	7.1
		中込注入	閉塞含む	小口径推進数量計算書（詳細）より	0.37	m3	0.4
		立坑内管布設		小口径推進数量計算書（詳細）より	0.80	m	0.8
	仮設備工（小口径）						
		鏡切			1.00	箇所	1.0
		推進設備	据換		1.00	箇所	1.0
		中詰注入設備			1.00	箇所	1.0
立坑工（鋼製立坑）IP.3（φ1500）（夜間（8時間））							
	管路土工						
		管路埋戻	RC-40	立坑土工数量計算書（詳細）より	9.10	m3	9.1
		砂基礎		立坑土工数量計算書（詳細）より	0.31	m3	0.3
		発生土処理		立坑土工数量計算書（詳細）より	10.87	m3	10.9
	鋼製ケーシング土留工及び土工						
		鋼製ケーシング圧入掘削	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より （ 0.7 + 0.05 + 5.2 = 6.0 m）	1.00	箇所	1.0
		底部コンクリート	18-8-25BB	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		圧入掘削設備	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
		鋼製ケーシング存置	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	式	1.0
		円形覆工板	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
立坑工（鋼製立坑）IP.4（φ1500）（夜間（8時間））							
	管路土工						
		管路埋戻	RC-40	立坑土工数量計算書（詳細）より	9.59	m3	9.6
		砂基礎		立坑土工数量計算書（詳細）より	0.30	m3	0.3
		発生土処理		立坑土工数量計算書（詳細）より	11.32	m3	11.3
	鋼製ケーシング土留工及び土工						
		鋼製ケーシング圧入掘削	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より （ 0.7 + 0.3 + 5.2 = 6.2 m）	1.00	箇所	1.0
		底部コンクリート	18-8-25BB	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
		圧入掘削設備	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
		鋼製ケーシング存置	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	式	1.0
		円形覆工板	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
立坑工（鋼製立坑）M52-3-1（φ1500）（夜間（8時間））							
	管路土工						
		埋戻コンクリート	18-8-40BB	立坑土工数量計算書（詳細）より	3.13	m3	3.1
		管路埋戻		立坑土工数量計算書（詳細）より	1.34	m3	1.3
		発生土処理		立坑土工数量計算書（詳細）より	8.97	m3	9.0
	鋼製ケーシング土留工及び土工						
		鋼製ケーシング圧入掘削	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より （ 1.0 + 4.0 = 5.0 m）	1.00	箇所	1.0
		底部コンクリート	18-8-25BB	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
		圧入掘削設備	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
		鋼製ケーシング存置	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	式	1.0
		仮設ケーシング損料	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	式	1.0
		円形覆工板	φ1500	鋼製ケーシング土留工及び土工計算表より	1.00	箇所	1.0
立坑工（軽量鋼矢板立坑）IP.9（□1350×1350）（夜間（8時間））							
	管路土工						
		管路掘削		立坑土工数量計算書（詳細）より	5.69	m3	5.7
		管路埋戻	RC-40	立坑土工数量計算書（詳細）より	4.44	m3	4.4

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）						単位	数量
		砂基礎		立坑土工数量計算書（詳細）より				0.12	m3	0.1
		発生土処理		立坑土工数量計算書（詳細）より				5.69	m3	5.7
	土留工	軽量鋼矢板建込工	掘削深2.5m以下	1.35	+	1.35	＝	2.70	m	2.7
		軽量鋼矢板引抜工	掘削深2.5m以下	1.35	+	1.35	＝	2.70	m	2.7
		軽量鋼矢板賃料	賃料					1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板部分撤去・未撤去	鏡切部	立坑土工数量計算書（詳細）より				1.00	式	1.0
		土留支保（軽量金属支保）設置	2段	1.35	+	1.35	＝	2.70	m	2.7
		土留支保（軽量金属支保）撤去	2段	1.35	+	1.35	＝	2.70	m	2.7
		支保材賃料（水圧式四面梁腹起し）						1.00	式	1.0
		支保材賃料（水圧ポンプ）						1.00	式	1.0
	管路路面覆工	覆工板		単位数量計算書より				1.00	式	1.0
立坑工（軽量鋼矢板立坑）IP.9+7.2（□1850×1650）（夜間（8時間））										
	管路土工	管路掘削		立坑土工数量計算書（詳細）より				12.54	m3	12.5

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）							単位	数量
		管路埋戻		立坑土工数量計算書（詳細）より					10.66	m3	10.7
		砂基礎		立坑土工数量計算書（詳細）より					0.31	m3	0.3
		発生土処理		立坑土工数量計算書（詳細）より					12.54	m3	12.5
	土留工	軽量鋼矢板建込工	掘削深3.8m以下	1.65	+	1.85		=	3.50	m	3.5
		軽量鋼矢板引抜工	掘削深3.8m以下	1.65	+	1.85		=	3.50	m	3.5
		軽量鋼矢板賃料	賃料						1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板部分撤去・未撤去	鏡切部	立坑土工数量計算書（詳細）より					1.00	式	1.0
		土留支保（軽量金属支保）設置	3段	1.65	+	1.85		=	3.50	m	3.5
		土留支保（軽量金属支保）撤去	3段	1.65	+	1.85		=	3.50	m	3.5
		支保材賃料（水圧式四面梁腹起し）							1.00	式	1.0
		支保材賃料（水圧ポンプ）							1.00	式	1.0
		立坑基礎コンクリート		1.65	×	1.85	× 0.15	=	0.46	m3	0.5
	管路路面覆工	覆工板		単位数量計算書より					1.00	式	1.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
マンホール工（昼間（8時間））					
	組立マンホール工				
		組立1号レジンマンホール	レジン1号人孔材料表及びレジン1号マンホール底部工数量計算表より　1.00	式	1.0
	小型マンホール工				
		小型マンホール	塩ビ製　塩ビ製小口径マンホール材料計算表より　1.00	式	1.0
マンホール工（夜間（8時間））					
	組立マンホール工				
		組立1号マンホール	組立1号人孔材料表及び1号マンホール底部工数量計算表より　1.00	式	1.0
		組立1号レジンマンホール	レジン1号人孔材料表及びレジン1号マンホール底部工数量計算表より　1.00	式	1.0
		内副管	飛散防止板　内副管工総括表より　1.00	式	1.0
取付管およびますエ（昼間（8時間））					
	管路土工				
		管路掘削	機械 BH0.28　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　6.16	m3	6.2
		管路掘削	人力　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　1.89	m3	1.9
		管路埋戻	機械 BH0.28　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　3.41	m3	3.4
		管路埋戻	人力　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　1.23	m3	1.2
		発生土処理	4t積　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　6.16	m3	6.2
		発生土処理	2t積　1.89　－　1.23　／　0.9　＝　0.52	m3	0.5

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）					単位	数量
	ます設置工								
		ます（塩ビ製）	φ200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			3.00	箇所	3.0
	取付管布設工								
		取付管（塩ビ管）	φ100	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			3.00	箇所	3.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			9.00	m	9.0
取付管およびますエ（夜間（8時間））									
	管路土工								
		管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			26.68		
			取付管①、②、③	歩道部	0.7m*（1.2-0.08）m*3.3m*3箇所	＝	7.76		
			取付管④	歩道部	0.7m*（1.2-0.08）m*4.0m*1箇所	＝	3.14		
			取付管⑤、⑥	歩道部	0.7m*（1.2-0.08）m*3.3m*2箇所	＝	5.17		
					∑V	＝	42.75	m3	42.8
		管路掘削	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			3.78	m3	3.8
		管路埋戻	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			13.25		
			取付管①、②、③	歩道部	0.7m*（1.2-0.26-0.314）m*3.3m*3箇所	＝	4.34		
			取付管④	歩道部	0.7m*（1.2-0.26-0.314）m*4.0m*1箇所	＝	1.75		
			取付管⑤、⑥	歩道部	0.7m*（1.2-0.26-0.314）m*3.3m*2箇所	＝	2.89		
					∑V	＝	22.23	m3	22.2
		管路埋戻	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			2.46	m3	2.5
		発生土処理	4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			42.75	m3	42.8

数　量　計　算　書

補助対象工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
		発生土処理	2t積　3.78　－　2.46　／　0.9　＝　1.05	m3	1.1
	ます設置工	ます（塩ビ製）	φ200　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　6.00	箇所	6.0
	取付管布設工	取付管（塩ビ管）	φ100　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　6.00	箇所	6.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　37.35 取付管①、②、③　歩道部　3.3m*3箇所　＝　9.9 取付管④　歩道部　4.0m*1箇所　＝　4.0 取付管⑤、⑥　歩道部　3.3m*2箇所　＝　6.6 ΣL　＝　57.85	m	57.9
付帯工（昼間（8時間））					
	舗装版破砕工（本復旧）				
		舗装版切断	As　15cm以下 M50-2付近　既設M40-1付近 6.0　＋　6.5　＝　12.50	m	12.5
		舗装版破砕	As　15cm以下 別紙舗装工面積計算書より 236.0　＝　236.00	m2	236.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		殻運搬	As殻 本管仮復旧 （ 38.10 ＋ 9.00 ） × 0.03 ＝ 1.41 取付管仮復旧 5.36 × 0.03 ＝ 0.16 IP.9+7.2、M52-3-1、電線管仮復旧 （ 6.88 ＋ 7.00 ） × 0.03 ＝ 0.42 本復旧 （ 236.0 － 38.10 － 9.00 － 5.36 － 6.88 － 7.00 ） × 0.05 ＝ 8.48 計 10.47	m3	10.5
		殻処分	As殻 10.47	m3	10.5
	舗装版破砕工（本管・取付管）				
		舗装版切断	As 15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 76.20 ＋ 取付管 15.30 ＝ 91.50	m	91.5
		舗装版破砕	As 15cm以下 BH0.28 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 38.10 ＋ 取付管 5.36 ＝ 43.46	m2	43.5
		殻運搬	As 4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 1.91 ＋ 取付管 0.27 ＝ 2.18	m3	2.2

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　1.91　+　取付管　0.27　＝　2.18	m3	2.2
	舗装復旧準備工（本復旧）	不陸整正	補足材　RC-40　平均t=1cm 別紙舗装工面積計算書より 236.0　＝　236.00	m2	236.0
	アスファルト舗装復旧工（本復旧）	表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=5cm 別紙舗装工面積計算書より 236.0　＝　236.00	m2	236.0
	舗装仮復旧工（本管・取付管）	下層路盤(歩道部)	再生砕石RC-40　t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　34.29　+　取付管　5.36　＝　39.65	m2	39.7
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=3 cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　38.10　+　取付管　5.36　＝　43.46	m2	43.5
	区画線工	溶融式区画線	矢印記号文字W150　白 止まれ　18.6　×　1　＝　18.60	m	18.6

数　量　計　算　書

補助対象工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
		溶融式区画線	ゼブラW300　白 停止線　2.0 × 1 ＝ 2.00	m	2.0
付帯工（夜間（8時間））					
	舗装版破砕工（本復旧）				
		舗装版切断	As　15cm以下 M52-2-1付近　既設M76-2-1付近 3.4 ＋ 8.5 ＝ 11.90	m	11.9
		舗装版破砕	取付管仮復旧（ILB） 取付管①、②、③　0.70 × 3.3 × 3 ＝ 6.93 取付管④　0.70 × 4.0 ＝ 2.80 取付管⑤、⑥　0.70 × 3.3 × 2 ＝ 4.62 計 14.35	m2	14.4
		殻運搬	As殻 取付管仮復旧（ILB） 取付管①、②、③　（ 0.70 × 3.3 × 3 ）× 0.03 ＝ 0.21 取付管④　（ 0.70 × 4.0 ）× 0.03 ＝ 0.08 取付管⑤、⑥　（ 0.70 × 3.3 × 2 ）× 0.03 ＝ 0.14 計 0.43	m3	0.4
		殻運搬（路面切削）	As殻 904.1 × 0.05 ＝ 45.21	m3	45.2
		殻処分	As殻　0.43 ＋ 45.21 ＝ 45.64	m3	45.6

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装版破砕工（二次復旧）				
		掘削	（33.7+17.6+7.6）　×（　1.0　×　0.15　+　0.5　×　0.10　）　＝　11.78		
			78.45　×（　0.7　×　0.15　+　0.3　×　0.10　）　＝　10.59		
			34.65　×（　0.7　×　0.15　+　0.6　×　0.10　）　＝　5.72		
			取付管（ILB）①、②、③　（　0.70　×　3.3　×　3　）×　0.08　＝　0.55		
			取付管（ILB）④　（　0.70　×　4.0　）×　0.08　＝　0.22		
			取付管（ILB）⑤、⑥　（　0.70　×　3.3　×　2　）×　0.08　＝　0.37		
			計　29.23	m3	29.2
		発生土処理	＝　29.23	m3	29.2
		舗装版切断	As　15cm以下		
			本管　129.20　+　圧送管　81.65　+　取付管　69.30　＝　280.15	m	280.2
		舗装版破砕	As　15cm以下		
			本管　圧送管		
			（　33.7　+　17.60　+　7.60　）×　1.5　+　78.45　×　1.0		
			取付管		
			+　34.65　×　1.3　＝　211.85	m2	211.8
		殻運搬	As殻		
			（33.7+17.6+7.6）　×（　1.0　×　0.05　+　0.5　×　0.10　）　＝　5.89		
			78.45　×（　0.7　×　0.05　+　0.3　×　0.10　）　＝　5.10		
			34.65　×（　0.7　×　0.05　+　0.6　×　0.10　）　＝　3.29		
			計　14.28	m3	14.3
		殻処分	As殻　14.28	m3	14.3

数　量　計　算　書

補助対象工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装版破砕工（本管・取付管）				
		舗装版切断	As　15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 129.20 ＋ 圧送管 163.30 ＋ 取付管 69.30 ＝ 361.80	m	361.8
		舗装版破砕	As　15cm以下　BH0.28 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 64.60 ＋ 圧送管 57.16 ＋ 取付管 24.26 ＝ 146.02	m2	146.0
		殻運搬	As　4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 6.18 ＋ 圧送管 5.72 ＋ 取付管 2.43 ＝ 14.33	m3	14.3
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 6.18 ＋ 圧送管 5.72 ＋ 取付管 2.43 ＝ 14.33	m3	14.3
		インターロッキングブロック撤去	取付管（ILB）①、②、③　0.70 × 3.3 × 3 ＝ 6.93 取付管（ILB）④　0.70 × 4.0 ＝ 2.80 取付管（ILB）⑤、⑥　0.70 × 3.3 × 2 ＝ 4.62 計 14.35	m2	14.4
	舗装版破砕工（立坑）		As　15cm以下		
		舗装版切断	IP.9 2.2 × 2 ＋ 2.3 × 2 ＝ 9.00 IP.9+7.2 2.2 × 2 ＋ 2.3 × 2 ＝ 9.00 計 18.00	m	18.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		舗装版破砕	As　15cm以下　BH0.28 IP.3、IP.4、M52-3-1 φ1500　(1.50+0.2)×tan(22.5°)×0.85×1/2×8　×3箇所　＝　7.18 IP.9　IP.9+7.2 2.2　×　2.3　+　2.2　×　2.3　＝　10.12 計　17.30	m2	17.3
		殻運搬	As　4t積 7.18　×　0.05　+　5.06　×　0.10　+　5.06　×　0.05　＝　1.12	m3	1.1
		殻処分	As　殻運搬より ＝　1.12	m3	1.1
	舗装復旧準備工（本復旧）				
		不陸整正	補足材　RC-40　平均t=1cm 取付管（ILB）①、②、③　0.70　×　3.3　×　3　＝　6.93 取付管（ILB）④　0.70　×　4.0　＝　2.80 取付管（ILB）⑤、⑥　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 計　14.35	m2	14.4
	舗装復旧準備工（二次復旧）				
		不陸整正	As　15cm以下 本管　圧送管 (　33.7　+　17.60　+　7.60　)×　1.5　+　78.45　×　1.0 取付管 +　34.65　×　1.3　＝　211.85	m2	211.8

数　量　計　算　書

補助対象工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
	アスファルト舗装復旧工（本復旧）				
		インターロッキングブロック舗装	取付管（ILB）①、②、③　0.70 × 3.3 × 3 ＝ 6.93 取付管（ILB）④　0.70 × 4.0 ＝ 2.80 取付管（ILB）⑤、⑥　0.70 × 3.3 × 2 ＝ 4.62 計 14.35	m2	14.4
		切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度As(20)　t=5cm 別紙舗装工面積計算書より ＝ 904.10	m2	904.1
		舗装目地復旧	t＝4cm 8.5 + 3.4 ＝ 11.90	m	11.9
	アスファルト舗装復旧工（二次復旧）				
		上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石　M-30　t=10cm (33.7+17.6+7.6) × 1.5 + 78.45 × 1.0 + 34.65 × 1.3 ＝ 211.85	m2	211.8
		基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20)　t=5cm (33.7+17.6+7.6) × 1.5 + 78.45 × 1.0 + 34.65 × 1.3 ＝ 211.85	m2	211.8
		表層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20)　t=5cm (33.7+17.6+7.6) × 1.5 + 78.45 × 1.0 + 34.65 × 1.3 ＝ 211.85	m2	211.8

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装仮復旧工（本管・取付管）				
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=22cm 管路土工数量計算表より 本管　5.13　＝　5.13	m2	5.1
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=23cm 管路土工数量計算表より 本管　2.97　＝　2.97 取付管(ILB)①、②、③　0.70　×　3.3　×　3　＝　6.93 取付管(ILB)④　0.70　×　4.0　＝　2.80 取付管(ILB)⑤、⑥　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 計　17.32	m2	17.3
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=29cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　53.01　+　取付管　24.26　+　圧送管　57.16　＝　134.43	m2	134.4
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=3cm 管路土工数量計算表より 本管　9.00　＝　9.00 取付管(ILB)①、②、③　0.70　×　3.3　×　3　＝　6.93 取付管(ILB)　0.70　×　4.0　＝　2.80 取付管(ILB)⑤、⑥　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 計　23.35	m2	23.4
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=5cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　58.90　+　取付管　24.26　+　圧送管　57.16　＝　140.32	m2	140.3

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装仮復旧工（立坑）				
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=22cm IP.9+7.2　2.2　×　2.3　＝　5.06 M52-3-1 φ1500　π/4×1.524^2　＝　1.82 計　6.88	m2	6.9
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=29cm IP.3、IP.4 φ1500　π/4×1.524^2　×2箇所　＝　3.65 IP.9 2.2　×　2.3　＝　5.06 計　8.71	m2	8.7
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As（13）　t=3cm IP.9+7.2、M52-3-1　＝　6.88	m2	6.9
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As（13）　t=5cm IP.3、IP4、IP.9　＝　8.71	m2	8.7
	区画線工				
		溶融式区画線	実線W150　白 中央線　28.0　＝　28.00	m	28.0
		溶融式区画線	破線W150　白 道路中央線　3.0　×　9.0　＝　27.00	m	27.0

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		溶融式区画線	ゼブラW450　白		
			安全地帯　2.0 × 13.0 ＝ 26.00		
			安全地帯　1.2 × 15.0 ＝ 18.00		
			計 44.00	m	44.0
		溶融式区画線	矢印記号文字W150　白		
			矢印　6.7 × 3 ＝ 20.10		
			矢印　9.2 × 6 ＝ 55.20		
			矢印　13.0 × 1 ＝ 13.00		
			中心点三角　13.0 × 1 ＝ 13.00		
			計 101.30	m	101.3
		溶融式区画線	矢印記号文字W150　黄		
			速度制限　19.8 × 1 ＝ 19.80	m	19.8
		高視認性区画線	センターラインW150　黄		
			中央線　28.0 + 93.0 + 26.0 ＝ 147.00	m	147.0
	附帯工				
		電線管	単位数量計算書より		
			1.00	式	1.0
仮設工（昼間（8時間））					
	交通管理工				
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	29.4

数　量　計　算　書

補助対象工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
仮設工（夜間（8時間））					
	交通管理工				
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	213.0
共通仮設費					
	運搬費				
		建設機械運搬費	2.00	台	2.0
		仮設材等運搬費	軽量鋼矢板　仮設ケーシング　円形覆工板　覆工板（2枚）　覆工板受桁 6.248 ＋ 1.24 ＋ 0.73×2 ＋ 0.848×2 ＋ 0.346×2 ＝ 11.336t 1.00	式	1.0
		仮設材等積込み取卸し	軽量鋼矢板　仮設ケーシング　円形覆工板　覆工板（2枚）　覆工板受桁 6.248 ＋ 1.24 ＋ 0.73×2 ＋ 0.848×2 ＋ 0.346×2 ＝ 11.336t 1.00	式	1.0
	役務費				
		コンクリート割増料金	1.00	式	1.0
	技術管理費				
		本管TV調査	昼間　内径800mm未満　管布設工数量計算表より　36.80	m	36.8
		本管TV調査	夜間　内径800mm未満　管布設工数量計算表より　64.10	m	64.1
		通水試験	集計表より　107.72	m	107.7
スクラップ評価額			1.00	式	1.0

圧送管集計表　　管種 VPφ75　52-3路線

名　称	規　格	数　量		単位	備　考
			計		
硬質塩化ビニル管据付	φ75	圧送管数量計算表より	92.53	m	
埋設標識テープ		総延長-片フランジ曲管人孔内-空気弁人孔内-縦管延長 93.82－0.27-1.05-(3.35+3.7)	85.45	m	
マンホール可とう継手	拡張バンドﾀｲﾌﾟ VPφ75		1	個	M61-2-1
RR継手	離防金具有り φ75		27	口	
RR継手	離防金具無し φ75		14	口	
鋳鉄管布設	φ75	0.07+0.20	0.27	m	
鋼管布設	80A		0.67	m	
可とう管設置	80A F×F		1	基	
空気弁設置	φ75　7.5K		1	基	
メカニカル継手	φ75	空気弁2口、短管1号1口	3	口	
フランジ継手	φ75	伸縮可とう管2口	2	口	
通水試験	φ75	圧送管数量計算+推進(IP.3～IP.4)+推進(IP.9～IP.9+7.2) 93.82+7.85+6.05	107.72	m	

圧送管数量計算表　52-3路線

名　称	規　格	単位長 (m)	数量						計	単位	布設延長 (m)	備考
塩化ビニル管												
VP直管	φ75	5.000	3	10					13	本	65.00	
甲切管	φ75		0.60 0.60	3.60 0.40	3.70	3.35	0.50	4.25	17.00	m	17.00	8本
乙切管	φ75		0.55	0.80					1.35	m	1.35	
曲管	φ75×45°	0.464	1 1	1 4	2 2	2 2	2	2	19	個	8.82	
	φ75×22° 1/2	0.355	1						1	個	0.36	
	φ75×11° 1/4	0.305								個		
	φ75×5° 5/8	0.277								個		
両受VPカラー	φ75	0.080								個		
RR離脱防止金具	φ75		2 7	4	3	2	4	5	27	個		
							塩化ビニル管布設延長			m	92.53	
鋳鉄管												
短管1号	φ75	0.071	1						1	個	0.07	
							鋳鉄管布設延長			m	0.07	
鋼管												
80A×45° 片フランジ曲管	SUS304	0.670	1						1	個	0.67	
							鋼管布設延長			m	0.67	

可とう管												
ゴム製伸縮可とう管	80A	0.350	1						1	基	0.35	
								可とう管設置延長		m	0.35	
空気弁												
フランジ付T字管	φ75-75	0.196	1						1	個	0.20	
							フランジ付T字管設置延長			m	0.20	
延長　計										m	93.82	

小口径推進数量計算書(詳細)

52-3路線(IP4→IP3)

名　称	規 格	計　　算　　式	小 計	数 量
【管 渠 工】				
管渠延長		L= 9.00 =	9.00	m 9.0
推進延長		L= 9.00－(0.75＋0.75) =	7.50	m 7.5
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工				
推進用鋼管				
推進用鋼管	内径200mm L=0.8m/本	m/本 N= 7.50÷0.80 =	9.38	本 10.0
メタルクラウン	φ200	N= 7.50÷20.0 =	0.38	個 0.4
推進工	SP200	L= 7.50 =	7.50	m 7.5
メタルクラウン取付工	φ200	N= 1.00 =	1.00	箇所 1.0
メタルクラウン撤去工	φ200	N= 1.00 =	1.00	箇所 1.0
発生土処理				
汚泥吸排車運搬		V= π/4×0.2047^2×7.50 =	0.25	m3 0.3
挿入用塩ビ管				
硬質塩化ビニル管	VPφ75	L= 7.85 =	7.85	本 8.0
接着受口カラー	φ75	N= 7.50÷1.00-1 =	6.50	個 7.0
塩ビスペーサー	φ75	N= 7.50÷1.00-1 =	6.50	個 7.0
塩ビ管挿入工	φ75	L= 7.50 =	7.50	m 7.5

小口径推進数量計算書(詳細)

52-3路線(IP4→IP3)

名　称	規 格	計　　算　　式	小 計	数 量
中込注入				
中込注入工		V= π/4×(0.2047^2−0.089^2)×7.50 =	0.20	m3 0.2
閉塞工	φ200	N= 2.00 =	2.00	箇所 2.0
立坑内管布設				
立坑内管布設	VPφ75	L= 7.85-7.5 =	0.35	m 0.4
仮設備工(小口径)				
鏡切				
鏡切工	φ200	N= 2.00 =	2.00	箇所 2.0
推進設備				
推進設備工	据付・撤去	N= 1.00 =	1.00	箇所 1.0
中詰注入設備				
中詰注入設備工		N= 1.00 =	1.00	箇所 1.0

小口径推進数量計算書(詳細)

52-3路線(IP9+7.2→IP9)

名　称	規 格	計　　算　　式		小 計	数 量
【管 渠 工】					
管渠延長		L= 7.20	=	7.20	m 7.2
推進延長		L= 7.20－(0.825+0.411)	=	5.96	m 6.0
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工					
推進用鋼管					
推進用鋼管	内径200mm L=0.6m/本	m/本 N= 5.96÷0.60	=	9.93	本 10.0
メタルクラウン	φ200	N= 5.96÷20.0	=	0.30	個 0.3
推進工	SP200	L= 5.96	=	5.96	m 6.0
メタルクラウン取付工	φ200	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
メタルクラウン撤去工	φ200	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
発生土処理					
汚泥吸排車運搬		V= π/4×0.2047^2×5.96	=	0.20	m3 0.2
挿入用塩ビ管					
硬質塩化ビニル管	VPφ75	L= 6.05	=	6.05	本 7.0
接着受口カラー	φ75	N= 5.96÷1.00-1	=	4.96	個 5.0
塩ビスペーサー	φ75	N= 5.96÷1.00-1	=	4.96	個 5.0
塩ビ管挿入工	φ75	L= 5.96	=	5.96	m 6.0

小口径推進数量計算書(詳細)

52-3路線(IP9+7.2→IP9)

名　称	規 格	計　　算　　式		小 計	数 量
中込注入					
中込注入工		V= π/4×(0.2047^2−0.089^2)×5.96	=	0.16	m3 0.2
閉塞工	φ200	N= 2.00	=	2.00	箇所 2.0
立坑内管布設					
立坑内管布設	VPφ75	L= 6.05-5.96	=	0.09	m 0.1
仮設備工(小口径)					
鏡切					
鏡切工	φ200	N= 2.00	=	2.00	箇所 2.0
推進設備					
推進設備工	機械移設	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
中詰注入設備					
中詰注入設備工		N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
仮設ステージ					
仮設ステージ工		N= 1.00	=	1.00	式 1.0

小口径推進数量計算書(詳細)

52-2路線

名　称	規 格	計　　算　　式		小 計	数 量
【管 渠 工】					
管渠延長		L= 8.40	=	8.40	m 8.4
推進延長		L= 8.40－(0.825+0.450)	=	7.13	m 7.1
鋼製さや管ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(一重ｹｰｼﾝｸﾞ)推進工					
推進用鋼管					
推進用鋼管	内径300mm L=0.6m/本	m/本 N= 7.13÷0.60	=	11.88	本 12.0
メタルクラウン	φ300	N= 7.13÷20.0	=	0.36	個 0.4
推進工	SP300	L= 7.13	=	7.13	m 7.1
メタルクラウン取付工	φ300	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
メタルクラウン撤去工	φ300	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
既設人孔到達	φ300	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
発生土処理					
汚泥吸排車運搬		V= π/4×0.3047^2×7.13	=	0.52	m3 0.5
挿入用塩ビ管					
硬質塩化ビニル管	VUφ150	L= 7.13+0.825	=	7.96	本 8.0
接着受口カラー	φ150	N= 7.13÷1.00-1	=	6.13	個 7.0
塩ビスペーサー	φ150	N= 7.13÷1.00-1	=	6.13	個 7.0
塩ビ管挿入工	φ150	L= 7.13	=	7.13	m 7.1

小口径推進数量計算書(詳細)

52-2路線

名　称	規 格	計　　算　　式		小 計	数 量
中込注入					
中込注入工		V= π/4×(0.3047^2−0.165^2)×7.13	=	0.37	m3 0.4
閉塞工	φ300	N= 2.00	=	2.00	箇所 2.0
立坑内管布設					
立坑内管布設	VUφ150	L= 0.825	=	0.83	m 0.8
継手	リブ受口-VU差し口変換接手 φ150	N= 1.00		1.00	基 1.0
仮設備工(小口径)					
鏡切					
鏡切工	φ300	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
推進設備					
推進設備工	機械移設	N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0
中詰注入設備					
中詰注入設備工		N= 1.00	=	1.00	箇所 1.0

立坑土工数量計算書(詳細)

名　　称	種別・規格	算　　式	単位	数　量
管路土工				
管路埋戻	RC-40	π/4 × 1.50^2 × (5.706 − 0.34) = 9.483		
		(控除分)		
		管基礎		
		0.289 × 0.289 × π/4 × (5.706 − 0.52) = 0.340		
		V = 9.483 − 0.340 = 9.143	m3	9.1
砂基礎		(0.289 × 0.289 × π/4		
		− 0.089^2 × π/4) × (5.706 − 0.52) = 0.308	m3	0.3
発生土処理		π/4 × 1.524 × 5.956 = 10.87	m3	10.9

鋼製ケーシング式土留工及び土工

IP.3

項　目	計　算　式	単位	数 量
鋼製ケーシング圧入掘削 圧入掘削積込工			
粘性土　N≦5		m	―
〃　5＜N≦30	0.710	m	0.7
砂質土　N≦30	5.200	m	5.2
〃　30＜N≦50		m	―
礫質土　N≦30		m	―
軟岩I	0.046	m	0.05
ケーシング溶接工	4.70 m/箇所　×　2 箇所	m	9.4
ケーシング撤去工	φ1500　切断長　10.49 m	箇所	1.0
現場発生品・支給品運搬	スクラップ　0.68 t	t	0.7
底部コンクリート 底部コンクリート打設工	18-8-25BB　0.27 m3/箇所	箇所	1.0
底部砕石工	RC-40　1.77 m2/箇所	箇所	1.0
圧入掘削設備 機械設置撤去工	φ1500	回	1.0
機械退避・再設置工	φ1500	回	1.0
鋼製ケーシング存置 ケーシング刃先	φ1500	個	1.0
カッタビット		個	15.0

鋼製ケーシング式土留工及び土工

IP.3

項　目	計　算　式	単位	数 量
ケーシング	φ1500	m	6.0
円形覆工板			
円形覆工板設置工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板撤去工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板開閉工	φ1500用	回	3.0
路面すりつけ工		m	6.3
円形覆工板賃料等	φ1500用	式	1.0

立坑土工数量計算書(詳細)

名　　称	種別・規格	算　　式	単位	数　量
管路土工				
管路埋戻	RC-40	π/4 × 1.50^2 × (5.958 − 0.34) = 9.928 (控除分) 管基礎 0.289 × 0.289 × π/4 × (5.958 − 0.85) = 0.335 V = 9.928 − 0.335 = 9.593	m3	9.6
砂基礎		(0.289 × 0.289 × π/4 − 0.089^2 × π/4) × (5.958 − 0.85) = 0.303	m3	0.3
発生土処理		π/4 × 1.524^2 × 6.208 = 11.32	m3	11.3

鋼製ケーシング式土留工及び土工

IP.4

項　目	計　算　式	単位	数 量
鋼製ケーシング圧入掘削 圧入掘削積込工			
粘性土　N≦5		m	―
〃　5＜N≦30	0.720	m	0.7
砂質土　N≦30	5.200	m	5.2
〃　30＜N≦50		m	―
礫質土　N≦30		m	―
軟岩I	0.288	m	0.3
ケーシング溶接工	4.70 m/箇所　×　2 箇所	m	9.4
ケーシング撤去工	φ1500　切断長　10.68 m	箇所	1.0
現場発生品・支給品運搬	スクラップ　0.70 t	t	0.7
底部コンクリート 底部コンクリート打設工	18-8-25BB　0.27 m3/箇所	箇所	1.0
底部砕石工	RC-40　1.77 m2/箇所	箇所	1.0
圧入掘削設備 機械設置撤去工	φ1500	回	1.0
機械退避・再設置工	φ1500	回	1.0
鋼製ケーシング存置 ケーシング刃先	φ1500	個	1.0
カッタビット		個	15.0

鋼製ケーシング式土留工及び土工

IP.4

項　目	計　算　式	単位	数 量
ケーシング	φ1500	m	6.3
円形覆工板			
円形覆工板設置工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板撤去工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板開閉工	φ1500用	回	7.0
路面すりつけ工		m	6.3
円形覆工板賃料等	φ1500用	式	1.0

立坑土工数量計算書(詳細)

M52-3-1

名　　称	種別・規格	算　　式			単位	数　量
管路土工						
埋戻コンクリート	18-8-40BB	埋戻し面積				
		1.500×1.500×π/4	=	1.767	m2	
		埋戻し延長				
		設計図より 3.115	=	3.115	m	
		埋戻し控除(m3)				
		管路部　0.156^2×π/4×0.260×2	=	0.010		
		φ0.98部　0.98^2×π/4×3.025	=	2.282		
		φ1.06部　1.06^2×π/4×0.090	=	0.079		
		合計	=	2.371		
		1.767×3.115-2.371	=	3.133	m3	3.1
管路埋戻	RC-40	埋戻し面積				
		1.524×1.524×π/4	=	1.824	m2	
		埋戻し延長				
		設計図より 1.250	=	1.250	m	
		埋戻し控除(m3)				
		0.98^2×π/4×1.250	=	0.943		
		1.824×1.250-0.943	=	1.337	m3	1.3
発生土処理		1.524×1.524×π/4×4.915	=	8.966	m3	9.0

鋼製ケーシング式土留工及び土工

M52-3-1

項　目	計　算　式	単位	数 量
鋼製ケーシング圧入掘削 圧入掘削積込工			
粘性土　N≦5		m	―
〃　5＜N≦30	0.960	m	1.0
〃　N＜30		m	―
砂質土　N≦30	3.955	m	4.0
〃　30＜N≦50		m	―
礫質土　N≦30		m	―
ケーシング溶接工	4.70 m/箇所　×　2 箇所	m	9.4
ケーシング撤去工	φ1500　切断長　10.45 m	箇所	1.0
現場発生品・支給品運搬	スクラップ　0.67 t	t	0.7
底部コンクリート 底部コンクリート打設工	18-8-25BB　0.27 m3/箇所	箇所	1.0
底部砕石工	RC-40　1.77 m2/箇所	箇所	1.0
圧入掘削設備 機械設置撤去工	φ1500	回	1.0
機械退避・再設置工	φ1500	回	―
鋼製ケーシング存置 ケーシング刃先	φ1500	個	1.0
ケーシング	φ1500	m	4.9

鋼製ケーシング式土留工及び土工

M52-3-1

項　目	計　算　式	単位	数 量
仮設ケーシング損料			
仮設ケーシング損料	φ1500　H=2.5m　　（　　1.24　t）	式	1.0
円形覆工板			
円形覆工板設置工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板撤去工	φ1500用	箇所	1.0
円形覆工板開閉工	φ1500用	回	1.0
円形覆工板賃料等	φ1500用	式	1.0

鋼製ｹｰｼﾝｸﾞ式土留工及び土工　数量計算表

立 坑	呼び径	掘削深	圧入深	引抜長	仕上がり ｹｰｼﾝｸﾞ長	ケーシング材料 先 頭	中 間	最 終	仮 設	底 部 ｺﾝｸﾘｰﾄ	ﾎﾞﾙﾄ接続 箇所数	ケーシング溶接 箇所数	単位長さ	溶接長	ケ ー シ ン グ 切 断 位 置	算 式	切 断 長		摘 要
	㎜	m	m	m	m	m*本数	m*本数	m*本数	m*本数	m3	ヶ所	ヶ所	m/ヶ所	m			m		
						2.0 m	2.0 m	2.0 m	m						GL- 1.50 m	1.50*π+1.444*4	10.488		
IP.3	1,500	5.956	5.956		6.00	1 本	1 本	1 本	本	0.27		2	4.70	9.4	管路部				
						2.3 m	2.0 m	2.0 m	m						GL- 1.50 m	1.50*π+1.492*4	10.680		
IP.4	1,500	6.208	6.208		6.30	1 本	1 本	1 本	本	0.27		2	4.70	9.4	管路部				
						2.0 m	1.4 m	1.5 m	2.5 m						GL- 1.50 m	1.50*π+1.435*4	10.452		
M52-3-1	1,500	4.915	4.915		4.90	1 本	1 本	1 本	1 本	0.27	1	2	4.70	9.4	管路部				
						m	m	m	m						GL- m				
						本	本	本	本						管路部				
						m	m	m	m						GL- m				
						本	本	本	本						管路部				
						m	m	m	m						GL- m				
						本	本	本	本						管路部				

立 坑	呼び径	スクラップ 上部撤去部 撤去長	単位質量	質 量	鏡切り部 径	面積	単位質量	箇所数	質 量	合 計	摘 要
	㎜	m	t/m	t	m	㎡	t/㎡	ヶ所	t	t	
IP.3	1,500	1.444	0.4660	0.673	0.250	0.05	0.0989	1	0.005	0.68	
IP.4	1,500	1.492	0.4660	0.695	0.250	0.05	0.0989	1	0.005	0.70	
M52-3-1	1,500	1.435	0.4660	0.669						0.67	

【ケーシングの諸元】

呼び径(㎜)	1,500	1,800	2,000	2,000	2,500
外 径(㎜)	1,524	1,824	2,024	2,032	2,538
内 径(㎜)	1,500	1,800	2,000	2,000	2,500
刃先径(㎜)					
厚 み(㎜)	12	12	12	16	19
円周長(㎜)	4,712	5,655	6,283	6,283	7,854
溶接延長(m)	4.7	5.7	6.3	6.3	7.9
1㎡当り重量(kg)	98.9	98.1	97.9	130.2	153.6
1m当り重量(kg)	466	555	615	818	1,206
底盤ｺﾝｸﾘｰﾄ(m3)	1.80	2.50	3.10	3.10	7.40

立坑土工数量計算書(詳細)

名　称	種別・規格	算　式	単位	数　量
管路土工				
管路掘削		2.16 × 2.25 ×(0.20 − 0.10) = 0.49		
		2.16 × 0.55 × 0.50 × 2 = 1.19		
		1.35 × 1.35 ×(2.399 − 0.20) = 4.01		
		計 = 5.69	m3	5.7
管路埋戻		1.35 × 1.35 ×(2.399 − 0.34) = 3.75		
		2.16 × 0.55 ×(0.70 − 0.34) ×2 = 0.86		
		管・砂基礎控除　立坑内管延長		
		− 0.289 × 0.289 × 2.09 = −0.17		
		計 = 4.44	m3	4.4
砂基礎		圧送管φ75		
		(π/4 × 0.289^2 − π/4 × 0.089^2)		
		× 2.09 = 0.12	m3	0.1
発生土処理		5.69	m3	5.7

名　　称	種別・規格	算　　式	単位	数　量
土留工 軽量鋼矢板部分撤去・未撤去	鏡切部	H=2500　部分撤去 1.866m 未撤去部分 0.634m 1.866 × 0.0142 × 2 = 0.053 t （t/m）（枚） × × 0.053 = 10,388 % 0.634 × 0.0142 × 2 = 0.018 t （t/m）（枚） × × 0.018 = 3,969 % 合計 14,357 円	式	1.0

立坑土工数量計算書(詳細)

IP.9+7.2

名　称	種別・規格	算　式	単位	数　量
管路土工				
管路掘削		2.16 × 2.25 ×(0.20 − 0.05) = 0.73		
		2.16 × 0.40 × 0.50 × 2 = 0.86		
		1.65 × 1.85 ×(3.788 − 0.20) = 10.95		
		計 = 12.54	m3	12.5
管路埋戻		1.65 × 1.85 ×(3.788 − 0.15 − 0.25)		
		= 10.34		
		2.16 × 0.40 ×(0.70 − 0.25) ×2 = 0.78		
		管・砂基礎控除　立坑内管延長		
		− 0.289 × 0.289 × 3.03 = −0.25		
		管・砂基礎控除　立坑内管延長		
		− 0.356 × 0.356 × 1.65 = −0.21		
		計 = 10.66	m3	10.7

名　称	種別・規格	算　式	単位	数　量
砂基礎		圧送管φ75 (π/4 × 0.289^2 − π/4 × 0.089^2) × 3.03 = 0.18 自然流下管φ150 (π/4 × 0.356^2 − π/4 × 0.156^2) × 1.65 = 0.13 計 = 0.31	m3	0.3
発生土処理		12.54	m3	12.5
土留工 軽量鋼矢板部分撤去・未撤去	鏡切部	H=4000　部分撤去 2.076m 未撤去部分 1.924m 2.076 × 0.0142 (t/m) × 2 (枚) = 0.059 t × % × 0.059 = 11,564 1.924 × 0.0142 (t/m) × 2 (枚) = 0.055 t × % × 0.055 = 12,127 合計 23,691 円	式	1.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	空気弁設置工	1.0基
規格	φ75　7.5K　補修弁付き	当り

名称	算式			単位	数量
下水道用空気弁	φ75　7.5K　補修弁付き		1.00	基	1.0
下水道用空気弁設置			1.00	基	1.0
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置	1号　3m以下		1.00	箇所	1.0
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40　0.1	＝	0.10	m3	0.1
1号ﾏﾝﾎｰﾙ	底版		1.00	個	1.0
1号ﾏﾝﾎｰﾙ	斜壁　900×900×300		1.00	個	1.0
1号ﾏﾝﾎｰﾙ	直壁　900×300		1.00	個	1.0
人孔鉄蓋及び受枠	φ900　T-25		1.00	組	1.0

細別	仮設ステージ	1.0式
規格		当り

名称	算式	単位	数量
鋼材	H形鋼　H200×200×8×12 1.20　×　2　×　49.9 ＝　119.8	kg	120
鋼材	等辺山形鋼 L75×75×6 1.75　×　2　×　6.85 ＝　24.0	kg	24
床版材	0.75　×　1.65　＝　1.2	m2	1.2
設置手間		式	1.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	電線管	1式
規格		当り

名称	算式	単位	数量
ベルマウス	φ50	個	3.0
電線管	FEP50mm×3本	m	8.5

細別	電線管	10.0m
規格	FEP50mm×3本	当り

名称	算式	単位	数量
舗装版切断	10.0 × 2 = 20.00	m	20.0
舗装版破砕	0.70 × 10.0 = 7.00	m2	7.0
殻運搬	7.00 × 0.05 = 0.35	m3	0.4
殻処分	0.35	m3	0.4
床掘	0.770 × 0.70 × 10.0 = 5.39	m3	5.4
電線管	FEP50×3本 10.0 × 3 = 30.00	m	30.0
埋設標識テープ	10.00	m	10.0
砂基礎	0.32 × 0.70 × 10 = 2.24	m3	2.2
埋戻(RC-40)	0.70 × 0.25 × 10.0 = 1.75	m3	1.8
発生土処理	5.39	m3	5.4
路盤	RC-40 t=22cm 0.70 × 10.0 = 7.00	m2	7.0
表層	再生密粒度As(13) t=3cm 0.70 × 10.0 = 7.00	m2	7.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	覆工板	1.0式
規格	IP.9	当り

名称	算式	単位	数量
覆工板・受桁設置撤去	2.0 × 2.0 = 4.0	m2	4.0
覆工板開閉工	2.0 × 2.0 × 3 回 = 12.0	m2	12.0
覆工板・受桁賃料等	1.0	式	1.0
コンクリート	18-8-25BB		
	0.35 × 0.15 × 2.16 × 2 = 0.23	m3	0.23
型枠	0.15 × (2.16+0.35) × 4 = 1.51	m2	1.51
基礎砕石	RC-40		
	0.35 × 2.16 × 2 = 1.51	m2	1.51
基面整正	0.35 × 2.16 × 2 = 1.51	m2	1.51
構造物取壊し	コンクリート数量より = 0.23	m3	0.23
殻運搬	構造物取壊し数量より = 0.23	m3	0.23
処分費	殻運搬数量より = 0.23	m3	0.23

細別	覆工板・受桁賃料等	1.0式
規格	IP.9	当り

名称	算式	単位	数量
覆工板賃料	1000 × 2000	月	1.0
覆工板修理費及び損耗費	2.0 × 2.0 = 4.0	m2	4.0
受桁賃料	H250-250×9×14	日	9.0
受桁修理費及び損耗費	2.16 × 2.0 × 0.08 t/m = 0.346	t	0.346
ずれ止め材	[-200×80×7.5×11		
	(2.16 × 2.0 + 2.00 × 2.0)		
	× 0.0246 t/m = 0.205	t	0.205

単 位 数 量 計 算 書

細別	覆工板	1.0式
規格	IP.9+7.2	当り

名称	算式	単位	数量
覆工板・受桁設置撤去	2.0 × 2.0 = 4.0	m2	4.0
覆工板開閉工	2.0 × 2.0 × 15 回 = 60.0	m2	60.0
覆工板・受桁賃料等	1.0	式	1.0
コンクリート	18-8-25BB		
	0.30 × 0.15 × 2.16 × 2 = 0.19	m2	0.19
型枠	0.15 × (2.16+0.30) × 4 = 1.48	m2	1.48
基礎砕石	RC-40		
	0.30 × 2.16 × 2 = 1.30	m2	1.30
基面整正	0.30 × 2.16 × 2 = 1.30	m2	1.30
構造物取壊し	コンクリート数量より = 0.19	m2	0.19
殻運搬	構造物取壊し数量より = 0.19	m2	0.19
処分費	殻運搬数量より = 0.19	m2	0.19

細別	覆工板・受桁賃料等	1.0式
規格	IP.9+7.2	当り

名称	算式	単位	数量
覆工板賃料	1000 × 2000	月	1.0
覆工板修理費及び損耗費	2.0 × 2.0 = 4.0	m2	4.0
受桁賃料	H250-250×9×14	日	27.0
受桁修理費及び損耗費	2.16 × 2.0 × 0.08 t/m = 0.346	t	0.346
ずれ止め材	[-200×80×7.5×11		
	(2.16 × 2.0 + 2.00 × 2.0)		
	× 0.0246 t/m = 0.205	t	0.205

単 位 数 量 計 算 書

細別	スクラップ評価額	1.0式
規格		当り

名称	算式	単位	数量
スクラップ評価額	ﾍﾋﾞ-H2 IP.9（軽量鋼矢板） 0.0142 × 1.866 × 2 ＝ 0.053 （枚） IP.9+7.2（軽量鋼矢板） 0.0142 × 2.076 × 2 ＝ 0.059 （枚） IP.9（ずれ止め材） ＝ 0.205 IP.9+7.2（ずれ止め材） ＝ 0.205 0.053 ＋ 0.059 ＋ 0.205 ＋ 0.205 ＝ 0.522 t 円/t 0.522 × ＝ 15,399 円 ﾍﾋﾞ-H1 IP.3 IP.4 M52-3-1 0.68 ＋ 0.70 ＋ 0.67 ＝ 2.05 t 円/t 2.05 × ＝ 63,550 円 合計 ＝ 78,949 円	式	1.0

細別		1.0式
規格		当り

名称	算式	単位	数量

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No.1

路線 番号	下流側（上段）上流側（下段） マンホール番号	マンホール 種別	地盤高	流出高	流出管径	人孔深	流入高	流入管径	落差	区間距離	現況厚 表層	仮復旧厚 表層 基層	上層路盤 下層路盤	掘削幅	下流側 埋戻高 掘削深	上流側 埋戻高 掘削深	平均 埋戻高 掘削深	掘削（上段:素掘 下段:矢板） 機械 深さ	機械 BH0.13	機械 BH0.28	機械 BH0.45	人力
			m	m	㎜	m	m	㎜	cm	m	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3
	M52-3-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.280	6.597	75		5.667	150	-93.0			3	0		1.47	1.46	1.465					
50	M50-1	塩ﾋﾞ MH	7.360	5.756	150	1.604				29.50	5	0	22	0.90	1.72	1.71	1.715	1.665		44.21		
	M50-1	塩ﾋﾞ MH	7.360	5.756	150	1.604	5.756	150	0.0			3	0		1.46	1.61	1.535					
50	M50-2	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.540	5.782	150	1.758				8.60	5	0	22	0.90	1.71	1.86	1.785	1.735		13.43		
計										38.10									0.00	0.00	0.00	0.00
																			0.00	57.64	0.00	0.00
素堀・矢板計																			0.00	57.64	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No.2

路線	下流側（上段）	区	掘	埋戻し　（上段:素掘 下段:矢板）											
	上流側（下段）	間	削	管基礎(砕石基礎(RC-40))							埋戻土(RC-40)				
		距	幅				機　械			人力	機　械				人力
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	離		ﾏﾝﾎｰﾙ減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
	M52-3-1			0.450											
50	M50-1	29.50	0.90	0.200	28.85	0.356		8.69			1.109		29.44		
	M50-1			0.200											
50	M50-2	8.60	0.90	0.450	7.95	0.356		2.40			1.179		9.13		
							0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
計		38.10					0.00	11.09	0.00	0.00		0.00	38.57	0.00	0.00
素堀・矢板計							0.00	11.09	0.00	0.00		0.00	38.57	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No.3

路線	下流側（上段）	区間距離	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm								再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(13) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
50	M52-3-1 M50-1	29.50	59.00				1.00	29.50		1.48				26.55									29.50		
50	M50-1 M50-2	8.60	17.20				1.00	8.60		0.43				7.74									8.60		
計		38.10	76.20	0.00	0.00	0.00		38.10	0.00	1.91	0.00	0.00	0.00	34.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	38.10	0.00	0.00

管布設工数量計算表

昼間

内径　150　mm　PRP　No. 1

路線番号	マンホール番号	マンホール種別	平均掘削深	人孔間距離	ﾏﾝﾎｰﾙ控除長	管体延長	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 拡張ﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 貼付ﾀｲﾌﾟ	水替工	外副管工	内副管工
	下流側										
	上流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
	M52-3-1	1号ﾚｼﾞﾝMH					1				
50	M50-1	塩ﾋﾞ MH	1.715	29.50	0.65	28.85					
	M50-1	塩ﾋﾞ MH									
50	M50-2	1号ﾚｼﾞﾝMH	1.785	8.60	0.65	7.95	1				
計				38.10	1.30	36.80	2				

管路土留工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No. 1

路線番号	ﾏﾝﾎｰﾙ種別 下流側（上段） 上流側（下段）	区間距離	掘削深	平均掘削深	掘削幅	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工								
																		1 段　2.0 m未満			2 段　2.0 m以上			3 段　3.5 m以上		
						H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=
		m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
50	M52-3-1 M50-1	29.50	1.720 1.710	1.715	0.90		29.50						29.50					29.50								
50	M50-1 M50-2	8.60	1.710 1.860	1.785	0.90		8.60						8.60					8.60								
計		38.10					38.10						38.10					38.10								

レジン１号人孔材料表

昼間　No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種 管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	削孔数	人孔ブロック 蓋 T-25 下段:梯子付	蓋 T-14	調整高	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	頂版 12	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	管取付壁 60	管取付壁 90	管取付壁 120	管取付壁 150	底版	FRP製梯子 30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360	390	420	450	480	副管
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	個
50路線より																																										
			PRP		75	6.857	107.5		1																																	
M50-2	7.540	5.782	150	1.758	150	6.587	80.5				58			1	1									1	1				1													1
計					削孔	PRP150 PRP200			1		58			1	1									1	1				1														1

レジン　１　号マンホール底部工数量計算表

昼間　No. 1

総マンホール数		1 箇所		平均管内径	125 mm	
モルタル上塗り厚さ　t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	１：２		m/袋 0.040	m 0.058	袋 1.450	袋 1.450
割砕基礎	砕石基礎 ＲＣ－４０	cm 施工厚　20	0.211	1	0.211	m3 0.21
インバート コンクリート						
	モルタル上塗り量	―○	0.668			上塗り量
	コンクリート量		0.138			
	モルタル上塗り量	―○―	0.700			m2
	コンクリート量		0.134			
	モルタル上塗り量	―○―	0.732			コンクリート量
	コンクリート量		0.130			
	モルタル上塗り量	―○―	0.765			m3
	コンクリート量		0.127			

塩ビ製小口径マンホール材料計算表（本管φ150㎜用）

昼間　No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	マンホール蓋（台座付）及び沈下防止板φ300 T-25	T-14	インバート ストレート起点 KT	ストレート中間 ST	曲点 L	合流	落差（立管一体型）	自在継手 15°	落差インバート用支管	下水キャップ φ150
	m	m	mm	m	mm	m	cm	組	組	個	個	個	個	個	個	個	個
50路線より M50-1	7.360	5.756	PRP 150	1.604	150	5.756	0	1				1			1		
計								1				1			1		

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　　No.1

路線	下流側（上段） 上流側（下段）	箇所数	取付管径	現況厚	仮復旧厚		掘削幅	本管土被り		平均掘削深	道路掘削延長	宅内掘削延長	道路部土工延長	埋設標識シート	掘　削　（上段:素掘　下段:矢板）					
													(上段:本管掘削幅)		深さ	機　械			人力	
					表層	上層路盤		下流側	平均		本管～官民界	官民界～桝	道路部延長		道路部					
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号			表層	基層	下層路盤		上流側					－本管掘削幅1/2		宅内	BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内
		箇所数	mm	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m3
7,8	M52-3-1				3	0		1.460					0.90		1.150		4.11			1.26
50	M50-1	2	100	5	0	22	0.70	1.450	1.455	1.200	3.00	1.00	2.55	6.00	0.900					
9	M50-1				3	0		1.450					0.90		1.150		2.05			0.63
50	M50-2	1	100	5	0	22	0.70	1.610	1.530	1.200	3.00	1.00	2.55	3.00	0.900					
計		3												9.00		0.00 0.00	6.16 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1.89 0.00
素堀・矢板計														9.00		0.00	6.16	0.00	0.00	1.89

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　　No. 2

路線	下流側（上段）	掘	埋戻し　（上段:素掘　下段:矢板）											
	上流側（下段）	削	砂基礎						埋戻土(RC-40)					流用土
		幅	深さ	機械			人力		深さ	機械			人力	人力
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号			BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内	(道路部)	BH0.13	BH0.28	BH0.45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
	M52-3-1				1.07			0.42			2.27			0.82
50	M50-1	0.70	0.314						0.636					
	M50-1				0.53			0.21			1.14			0.41
50	M50-2	0.70	0.314						0.636					
計				0.00	1.60	0.00		0.63		0.00	3.41	0.00	0.00	1.23
				0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	1.60	0.00		0.63		0.00	3.41	0.00	0.00	1.23

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　No.3

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） ﾏﾝﾎｰﾙ番号	道路掘削延長	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
			As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm								再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(12) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
50	M52-3-1 M50-1	2.55	10.20				0.70	3.57		0.18				3.57									3.57		
50	M50-1 M50-2	2.55	5.10				0.70	1.79		0.09				1.79									1.79		
		5.10	15.30	0.00	0.00	0.00		5.36	0.00	0.27	0.00	0.00	0.00	5.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.36	0.00	0.00

舗 装 工 面 積 計 算 書

昼間　　No.１／１

舗装版破砕・不陸整正・表層

測　　点	距 離（ｍ）	幅（ｍ）	面 積（㎡）	備　　考
自: No. 0 至: No. 1	40.00	4.90 4.90	196.0	50路線、52-2路線
自: No. 1 至: No. 1　＋ 4.10	4.10	4.90 4.90	20.1	50路線
自: 至:				
自: No. 0 至: No. 0　＋ 2.50	2.50	6.50 9.40	19.9	67-1路線
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計	46.60		236.0	

舗装版破砕・不陸整正・表層

測　　点	距 離（ｍ）	幅（ｍ）	面 積（㎡）	備　　考
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計				
計	46.60		236.0	

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No.1

路線	下流側（上段）									区	現況	仮復旧		掘	下 流 側	上 流 側	平　均	掘　削　（上段:素掘 下段:矢板）				
	上流側（下段）									間	厚	厚		削				機　械				人力
		ﾏﾝﾎｰﾙ	地盤高	流出高	流出	人孔深	流入高	流入	落差	距		表層	上層路盤	幅	埋 戻 高	埋 戻 高	埋 戻 高					
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	種　別			管径			管径		離	表層	基層	下層路盤		掘 削 深	掘 削 深	掘 削 深	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
			m	m	mm	m	m	mm	cm	m	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3
	既設M76-2-1	既設　1号 MH	7.300	4.891	150	2.409	4.911	150	2.0			5	0		2.15	2.00	2.075					
76-1	M76-1-1	1号 MH	7.230	4.989	150	2.241				26.00	10	0	29	0.90	2.49	2.34	2.415	2.315		54.17		
	M76-1-1	1号 MH	7.230	4.989	150	2.241	5.372	150	38.3			5	0		1.62	1.56	1.590					
76-1	M76-1-2	1号 MH	7.190	5.395	150	1.795				7.70	10	0	29	0.90	1.96	1.90	1.930	1.830		12.68		
	M76-1-2	1号 MH	7.190	5.395	150	1.795	5.632	150	23.7			5	0		1.32	1.24	1.280					
61-2	M61-2-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.160	5.685	150	1.475				17.60	10	0	29	0.90	1.66	1.58	1.620	1.520		24.08		
	M52-3-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.280	6.597	150		3.955	150				3	0		3.18	3.12	3.150					
52-2	+3.2	プラス点	7.230	3.965	150					3.20	5	0	22	0.90	3.43	3.37	3.400	3.350		9.65		
	M76-1-2	1号 MH	7.190	5.395	150	1.795	5.423	150	2.8			5	0		1.53	1.66	1.595					
67-1	+7.6	プラス点	7.450	5.552	150					7.60	10	0	29	0.90	1.87	2.00	1.935	1.835		12.55		
	+7.6	プラス点	7.450	5.552	150		5.552	150	0.0			3	0		1.74	1.79	1.765					
67-1	+10.9	プラス点	7.550	5.608	150					3.30	8	0	23	0.90	2.00	2.05	2.025	1.945		5.78		
	+10.9	プラス点	7.550	5.608	150		5.608	150	0.0			3	0		1.80	1.82	1.810					
67-1	既設M40-1	塩ﾋﾞ MH	7.620	5.651	150	1.969				2.50	5	0	22	0.90	2.05	2.07	2.060	2.010		4.52		
計										67.90									0.00	0.00	0.00	0.00
																			0.00	123.43	0.00	0.00
素堀・矢板計																			0.00	123.43	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No.2

路線	下流側（上段）	区	掘	埋戻し　（上段:素掘 下段:矢板）											
	上流側（下段）	間	削	管基礎(砕石基礎(RC-40))							埋戻土(RC-40)				
		距	幅				機　械			人力	機　械				人力
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	離		ﾏﾝﾎｰﾙ減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
	既設M76-2-1			0.450											
76-1	M76-1-1	26.00	0.90	0.450	25.10	0.356		7.56			1.719		40.22		
	M76-1-1			0.450											
76-1	M76-1-2	7.70	0.90	0.450	6.80	0.356		2.05			1.234		8.55		
	M76-1-2			0.450											
61-2	M61-2-1	17.60	0.90	0.450	16.70	0.356		5.03			0.924		14.64		
	M52-3-1			0.450											
52-2	+3.2	3.20	0.90	0.750	2.00	0.356		0.60			2.794		8.05		
	M76-1-2			0.450											
67-1	+7.6	7.60	0.90	0.000	7.15	0.356		2.15			1.239		8.47		
	+7.6			0.000											
67-1	+10.9	3.30	0.90	0.000	3.30	0.356		0.99			1.409		4.18		
	+10.9			0.000											
67-1	既設M40-1	2.50	0.90	0.200	2.30	0.356		0.69			1.454		3.27		
							0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
計		67.90					0.00	19.07	0.00	0.00		0.00	87.38	0.00	0.00
素堀・矢板計							0.00	19.07	0.00	0.00		0.00	87.38	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No.3

路線	下流側（上段）	区間距離	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm	再生砕石RC-40 t=23cm							再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(13) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
76-1	既設M76-2-1 M76-1-1	26.00	52.00				1.00	26.00		2.60					23.40									26.00	
76-1	M76-1-1 M76-1-2	7.70	15.40				1.00	7.70		0.77					6.93									7.70	
61-2	M76-1-2 M61-2-1	17.60	35.20				1.00	17.60		1.76					15.84									17.60	
52-2	M52-3-1 +3.2	3.20	6.40				1.00	3.20		0.16				2.88									3.20		
67-1	M76-1-2 +7.6	7.60	15.20				1.00	7.60		0.76					6.84									7.60	
67-1	+7.6 +10.9	3.30					1.00									2.97							3.30		
67-1	+10.9 既設M40-1	2.50	5.00				1.00	2.50		0.13				2.25									2.50		
計		67.90	129.20	0.00	0.00	0.00		64.60	0.00	6.18	0.00	0.00	0.00	5.13	53.01	2.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.00	58.90	0.00

管布設工数量計算表

夜間

内径　150　mm　PRP　No. 1

路線番号	マンホール番号	マンホール種別	平均掘削深	人孔間距離	ﾏﾝﾎｰﾙ控除長	管体延長	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 拡張ﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 貼付ﾀｲﾌﾟ	水替工	外副管工	内副管工
	下流側										
	上流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
	既設M76-2-1	既設　1号 MH						1			
76-1	M76-1-1	1号 MH	2.415	26.00	0.90	25.10	1				
	M76-1-1	1号 MH					1				
76-1	M76-1-2	1号 MH	1.930	7.70	0.90	6.80	1				
	M76-1-2	1号 MH					1				
61-2	M61-2-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	1.620	17.60	0.90	16.70	1				
	M52-3-1	1号ﾚｼﾞﾝMH					1				
52-2	+3.2	プラス点	3.400	3.20	0.45	2.75					
	M76-1-2	1号 MH					1				
67-1	+7.6	プラス点	1.935	7.60	0.45	7.15					
	+7.6	プラス点									
67-1	+10.9	プラス点	2.025	3.30		3.30					
	+10.9	プラス点									
67-1	既設M40-1	塩ﾋﾞ MH	2.060	2.50	0.20	2.30					
計				67.90	3.80	64.10	7	1			

管路土留工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No. 1

路線	マンホール 種別	区間	掘削	平均掘削	掘削	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工								
																		1 段　2.0 m未満			2 段　2.0 m以上			3 段　3.5 m以上		
番号	下流側（上段）	距離	深	深	幅	H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=
	上流側（下段）	m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
	既設M76-2-1		2.490																							
76-1	M76-1-1	26.00	2.340	2.415	0.90			26.00							26.00						26.00					
	M76-1-1		1.960																							
76-1	M76-1-2	7.70	1.900	1.930	0.90		7.70							7.70				7.70								
	M76-1-2		1.660																							
61-2	M61-2-1	17.60	1.580	1.620	0.90		17.60						17.60					17.60								
	M52-3-1		3.430																							
52-2	+3.2	3.20	3.370	3.400	0.90					3.20							3.20				3.20					
	M76-1-2		1.870																							
67-1	+7.6	7.60	2.000	1.935	0.90		7.60							7.60				7.60								
	+7.6		2.000																							
67-1	+10.9	3.30	2.050	2.025	0.90			3.30						3.30							3.30					
	+10.9		2.050																							
67-1	既設M40-1	2.50	2.070	2.060	0.90			2.50						2.50							2.50					
計		67.90					32.90	31.80		3.20			17.60	21.10	26.00		3.20	32.90			35.00					

管路土工数量計算表（圧送管VPφ75㎜用）

夜間　　No.1

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） ﾏﾝﾎｰﾙ番号	ﾏﾝﾎｰﾙ種別	地盤高	流出高	流出管径	人孔深	流入高	流入管径	落差	区間距離	現況厚 表層	仮復旧厚 表層基層	仮復旧厚 上層路盤下層路盤	掘削幅	下流側 埋戻高 掘削深	上流側 埋戻高 掘削深	平均 埋戻高 掘削深	掘削（上段:素掘 下段:矢板） 機械 深さ	機械 BH0.13	機械 BH0.28	機械 BH0.45	人力
			m	m	mm	m	m	mm	cm	m	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3
	M61-2-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.160	5.685	150	1.475	6.457	75	77.2			5	0		0.47	0.47	0.470			0.80		
52-3	IP.1	プラス点	7.140	6.437	75					1.60	10	0	29	0.70	0.81	0.81	0.810	0.710				
	IP.1	プラス点	7.140	6.437	75		6.437	75	0.0			5	0		0.47	0.47	0.470			9.49		
52-3	IP.2	プラス点	7.070	6.367	75					19.10	10	0	29	0.70	0.81	0.81	0.810	0.710				
	IP.2	プラス点	7.070	6.367	75		6.367	75	0.0			5	0		0.47	0.47	0.470			0.40		
52-3	IP.3	プラス点	7.080	6.377	75					0.80	10	0	29	0.70	0.81	0.81	0.810	0.710				
	IP.3	プラス点													0.00	0.00						
52-3	IP.4	プラス点								9.00				0.00								
	IP.4	プラス点	7.090	1.544	75		6.057	75	451.3			5	0		0.80	0.80	0.800			0.73		
52-3	IP.5	プラス点	7.090	6.057	75					1.00	10	0	29	0.70	1.14	1.14	1.140	1.040				
	IP.5	プラス点	7.090	6.057	75		6.057	75	0.0			5	0		0.80	0.80	0.800			10.48		
52-3	IP.6	プラス点	7.080	6.047	75					14.40	10	0	29	0.70	1.14	1.14	1.140	1.040				
	IP.6	プラス点	7.080	6.047	75		6.047	75	0.0			5	0		0.80	0.80	0.800			9.68		
52-3	IP.7	プラス点	7.060	6.027	75					13.30	10	0	29	0.70	1.14	1.14	1.140	1.040				
	IP.7	プラス点	7.060	6.027	75		6.027	75	0.0			5	0		0.80	0.80	0.800			13.32		
52-3	IP.8	プラス点	7.020	5.987	75					18.30	10	0	29	0.70	1.14	1.14	1.140	1.040				
	IP.8	プラス点	7.020	5.987	75		5.987	75	0.0			5	0		0.80	0.88	0.840			7.52		
52-3	IP.9	プラス点	7.020	5.908	75					9.95	10	0	29	0.70	1.14	1.22	1.180	1.080				
	IP.9	プラス点													0.00	0.00						
52-3	IP.9+7.20	プラス点								7.20				0.00								
	IP.9+7.20	プラス点	7.240	4.791	75		6.547	75	175.6			5	0		0.46	0.45	0.455			1.56		
52-3	M52-3-1	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.280	6.597	75	4.525				3.20	10	0	29	0.70	0.80	0.79	0.795	0.695				
計										97.85									0.00 0.00	53.98 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
素堀・矢板計																			0.00	53.98	0.00	0.00

管路土工数量計算表（圧送管VPφ75㎜用）

夜間　　No.2

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	区間距離	掘削幅	埋戻し　（上段:素掘 下段:矢板） 管基礎(砕石基礎(RC-40))							埋戻土(RC-40)				
							機　械			人力	機　械				人力
				マンホール減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
	M61-2-1			0.450				0.23					0.20		
52-3	IP.1	1.60	0.70	0.000	1.15	0.289					0.181				
	IP.1			0.000				3.75					2.42		
52-3	IP.2	19.10	0.70	0.000	19.10	0.289					0.181				
	IP.2			0.000				0.16					0.10		
52-3	IP.3	0.80	0.70	0.000	0.80	0.289					0.181				
	IP.3			0.000											
52-3	IP.4	9.00		0.000	9.00										
	IP.4			0.000				0.20					0.36		
52-3	IP.5	1.00	0.70	0.000	1.00	0.289					0.511				
	IP.5			0.000				2.82					5.15		
52-3	IP.6	14.40	0.70	0.000	14.40	0.289					0.511				
	IP.6			0.000				2.61					4.76		
52-3	IP.7	13.30	0.70	0.000	13.30	0.289					0.511				
	IP.7			0.000				3.59					6.55		
52-3	IP.8	18.30	0.70	0.000	18.30	0.289					0.511				
	IP.8			0.000				1.95					3.84		
52-3	IP.9	9.95	0.70	0.000	9.95	0.289					0.551				
	IP.9			0.000											
52-3	IP.9+7.20	7.20		0.000	7.20										
	IP.9+7.20			0.000				0.54					0.37		
52-3	M52-3-1	3.20	0.70	0.450	2.75	0.289					0.166				
							0.00	15.85	0.00	0.00		0.00	23.75	0.00	0.00
計		97.85					0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
素堀・矢板計							0.00	15.85	0.00	0.00		0.00	23.75	0.00	0.00

管路土工数量計算表（圧送管VPφ75㎜用）

夜間　　No.3

路線	下流側（上段）	区	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧工											
	上流側（下段）	間	As		Co			As			Co			下層路盤工			上層路盤工			基層工			表層工		
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	距離	t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=29cm									再生密粒度As(13) t=5cm		
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
52-3	M61-2-1 IP.1	1.60	3.20				0.70	1.12		0.11				1.12									1.12		
52-3	IP.1 IP.2	19.10	38.20				0.70	13.37		1.34				13.37									13.37		
52-3	IP.2 IP.3	0.80	1.60				0.70	0.56		0.06				0.56									0.56		
52-3	IP.3 IP.4	9.00																							
52-3	IP.4 IP.5	1.00	2.00				0.70	0.70		0.07				0.70									0.70		
52-3	IP.5 IP.6	14.40	28.80				0.70	10.08		1.01				10.08									10.08		
52-3	IP.6 IP.7	13.30	26.60				0.70	9.31		0.93				9.31									9.31		
52-3	IP.7 IP.8	18.30	36.60				0.70	12.81		1.28				12.81									12.81		
52-3	IP.8 IP.9	9.95	19.90				0.70	6.97		0.70				6.97									6.97		
52-3	IP.9 IP.9+7.20	7.20																							
52-3	IP.9+7.20 M52-3-1	3.20	6.40				0.70	2.24		0.22				2.24									2.24		
計		97.85	163.30	0.00	0.00	0.00		57.16	0.00	5.72	0.00	0.00	0.00	57.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	57.16	0.00	0.00

組立１号人孔材料表

夜間　　No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種 管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	削孔数	人孔ブロック（足掛金物付） 蓋 T-25 下段:梯子付	蓋 T-14	調整高	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	床版斜壁 15	斜壁 30	斜壁 45	斜壁 60	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	直壁 180			管取付壁 底版付 60	管取付壁 底版付 90	管取付壁 底版付 120	管取付壁 底版付 150	管取付壁 底版付 180			底版	副管
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個			個	個	個	個	個			個	個
76-1路線より M76-1-1	7.230	4.989	PRP 150	2.241	150	5.372	38.3	1	1		51						1														1				
76-1路線より M76-1-2	7.190	5.395	PRP 150	1.795	150 150	5.395 5.632	23.7	2	1		55					1														1				
52-2路線より M52-2-1	6.990	3.990	PRP 150	3.000	150 150	5.061 4.745	107.1 75.5		1		60					1					1										1			1 1
計					削孔	PRP150 PRP200	3	3	1 2		166					2	1				1									1	2				2

レジン１号人孔材料表

夜間 No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種 管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	削孔数	人孔ブロック 蓋 T-25	蓋 T-14	調整高	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	頂版 12	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	管取付壁 60	管取付壁 90	管取付壁 120	管取付壁 150	底版	FRP製梯子 30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360	390	420	450	480	副管
									下段:梯子付																																	
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	個
61-2路線より													φ600																													
			PRP						1																																	
M61-2-1	7.160	5.685	150	1.475	75	6.457	77.2	1			25		2		1								1		1			1														1
52-3路線より					50*3	GL-0.60								φ900																												
			VP		150	3.955	-264.2																																			
M52-3-1	7.280	6.597	75		150	5.667	-93.0	3	1		55			1					1	2					1												1					
計					削孔	254	1		1				φ600	φ900																												
						206以下	3	4	1		80		2	1	1				1	2			1		2			1									1					1

1　号マンホール底部工数量計算表

夜間　No. 1

総マンホール数		3 箇所		平均管内径	150 mm	
モルタル上塗り厚さ　　t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.166	袋 4.150	袋 4.150
砕石基礎	砕石基礎 ＲＣ－４０	cm 施工厚　20	0.209	3	0.627	m3 0.63
インバート コンクリート						
	モルタル上塗り量	―○	0.675			上塗り量
	コンクリート量		0.138			
	モルタル上塗り量	―○―	0.713	1	0.713	m2
	コンクリート量		0.133	1	0.133	2.97
	モルタル上塗り量	―○―	0.752	3	2.256	コンクリート量
	コンクリート量		0.128	3	0.384	
	モルタル上塗り量	―○―	0.790			m3
	コンクリート量		0.123			0.52

レジン　１　号マンホール底部工数量計算表

夜間　No.2

総マンホール数		2 箇所		平均管内径	125 mm	
モルタル上塗り厚さ　t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	１：２		m/袋 0.040	m 0.025	袋 0.625	袋 0.625
砕石基礎	砕石基礎 ＲＣ－４０	cm 施工厚　20	0.211	2	0.422	m3 0.42
インバート コンクリート						
	モルタル上塗り量	―○	0.668			上塗り量
	コンクリート量		0.138			
	モルタル上塗り量	―○―	0.700	1	0.700	m2
	コンクリート量		0.134	1	0.134	0.70
	モルタル上塗り量	―○―	0.732			コンクリ
	コンクリート量	｜	0.130			ート量
		｜				
	モルタル上塗り量	―○―	0.765			m3
	コンクリート量	｜	0.127			0.13

内副管工総括表（本管φ150㎜用）

1.0 式

工　　種	細　目	計算式	数　量	単位
内副管工(1)	M61-2-1	TA200　点検孔付　落差		
		＝　0.772	1.000	個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　6.457　－　5.685　)-(　0.550　－　0.200　－　0.150 / 2　＋　0.150　)}/　0.500　＝　0.694	1.000	個
内副管工(2)		TA200　点検孔付　落差		
		＝		個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　－　)-(　－　－　＋　)}/　＝		個
内副管工(3)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(4)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(5)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(6)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(7)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(8)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(9)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(10)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
バッフル	TA200	点検孔付	1.000	個
〃	TB200		1.000	個
直管布設延長	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝　L=		m
副管用90°支管	φ１００		-1.0	個
カラー	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
副管固定金具	φ１００用	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
９０°曲管	φ１００		-1.0	個
ﾌﾞﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		m
下水キャップ	φ１００		-1.0	個

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　　No. 1

路線	下流側（上段）	箇所数	取付管径	現況	仮復旧		掘	本管土被り		平均	道路	宅内	道路部土工延長	埋設標識	掘　削　（上段:素掘　下段:矢板）					
	上流側（下段）			厚	厚		削			掘削深	掘削延長	掘削延長	(上段:本管掘削幅)	シート	深さ	機　械			人力	
					表層	上層路盤	幅	下流側	平均		本管～官民界	官民界～桝	道路部延長		道路部					
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号			表層	基層	下層路盤		上流側					－本管掘削幅1/2		宅内	BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内
		箇所数	mm	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m3
1,2,3	既設M76-2-1				5	0		2.240					0.90		1.100		15.25			1.89
76-1	M76-1-1	3	100	10	0	29	0.70	2.090	2.165	1.200	7.05	1.00	6.60	21.15	0.900					
4	既設M76-2-1				5	0		2.240					0.90		1.100		1.27			0.63
76-1	M76-1-1	1	100	10	0	29	0.70	2.090	2.165	1.200	2.10	1.00	1.65	2.10	0.900					
5,6	M76-1-2				5	0		1.410					0.90		1.100		10.16			1.26
61-2	M61-2-1	2	100	10	0	29	0.70	1.320	1.365	1.200	7.05	1.00	6.60	14.10	0.900					
計		6												37.35		0.00	26.68	0.00	0.00	3.78
																0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
素堀・矢板計														37.35		0.00	26.68	0.00	0.00	3.78

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　　No. 2

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	掘削幅	埋戻し　（上段:素掘　下段:矢板）											
			砂基礎						埋戻土(RC-40)					流用土
			深さ	機械			人力		深さ	機械			人力	人力
				BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内	(道路部)	BH0.13	BH0.28	BH0.45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
76-1	既設M76-2-1 M76-1-1	0.70	0.314		4.15			0.63	0.546		7.57			1.23
76-1	既設M76-2-1 M76-1-1	0.70	0.314		0.35			0.21	0.546		0.63			0.41
61-2	M76-1-2 M61-2-1	0.70	0.314		2.77			0.42	0.546		5.05			0.82
計				0.00 0.00	7.27 0.00	0.00 0.00		1.26 0.00		0.00 0.00	13.25 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	2.46 0.00
				0.00	7.27	0.00		1.26		0.00	13.25	0.00	0.00	2.46

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　No.3

路線	下流側（上段）	道路掘削延長	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
			t=15cm	t=15cm	t=15cm	t=15cm		t=15cm	t=15cm	処分	t=15cm	t=15cm	処分	再生砕石BC-40	再生砕石BC-40	再生砕石BC-40							再生密粒度As(13)	再生密粒度As(13)	
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		以下	超	以下	超		以下	超		以下	超		t=22cm	t=29cm	t=23cm							t=3cm	t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
76-1	既設M76-2-1 M76-1-1	6.60	39.60				0.70	13.86		1.39					13.86									13.86	
76-1	既設M76-2-1 M76-1-1	1.65	3.30				0.70	1.16		0.12					1.16									1.16	
61-2	M76-1-2 M61-2-1	6.60	26.40				0.70	9.24		0.92					9.24									9.24	
		14.85	69.30	0.00	0.00	0.00		24.26	0.00	2.43	0.00	0.00	0.00	0.00	24.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.26	0.00

舗 装 工 面 積 計 算 書

夜間　　No.１／１

切削オーバーレイ

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: No. 0 ＋ 17.90 至: No. 1	22.10	3.40 3.40	75.1	52-3路線
自: No. 1 至: No. 1 ＋ 36.40	36.40	3.40 2.80	112.8	52-3路線
自: No. 1 ＋ 36.40 至: No. 2	3.60	8.10 8.10	29.2	52-3路線
自: No. 2 至: No. 3	40.00	8.10 8.30	328.0	52-3路線、61-2路線
自: No. 3 至: No. 4	40.00	8.30 8.50	336.0	61-2路線、76-1路線
自: No. 4 至: No. 4 ＋ 2.70	2.70	8.50 8.50	23.0	76-1路線
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計	144.80		904.1	

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計				
計	144.80		904.1	

令和６年度下工公補第１７号

津北部第１５ - ２処理分区公共下水道工事

数　量　総　括　表

（市単独工事）

ﾚﾍﾞﾙ1　：　管路

ﾚﾍﾞﾙ1　：　共通仮設

数　量　計　算　書

市単独工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）			単位	数量
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(昼間(8時間))							
	管路土工						
		管路掘削	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	65.40	m3	65.4
		管路埋戻	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	35.70	m3	35.7
		発生土処理	4t積	管路掘削数量より	65.40	m3	65.4
	管布設工						
		リブ付硬質塩化ビニル管	φ150mm	管布設工数量計算表より	65.75	m	65.8
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	65.75	m	65.8
		継手類		管布設工数量計算表より	1.00	式	1.0
	管基礎工						
		砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	17.47	m3	17.5
管きょ工(開削)(リブ管150mm)(夜間(8時間))							
	管路土工						
		管路掘削	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	148.04	m3	148.0
		管路埋戻	機械 BH0.28	管路土工数量計算表より	102.37	m3	102.4
		発生土処理	4t積	管路掘削数量より	148.04	m3	148.0

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
	管布設工						
		リブ付硬質塩化ビニル管	φ150mm	管布設工数量計算表より	81.55	m	81.6
		埋設標識テープ	W=150 2倍	管布設工数量計算表より	81.55	m	81.6
		継手類		管布設工数量計算表より	1.00	式	1.0
	管基礎工						
		砕石基礎(RC-40)	機械	管路土工数量計算表より	24.48	m3	24.5
	管路土留工						
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	55.75	m	55.8
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	管路土留工数量計算表より	55.75	m	55.8
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	29.40	m	29.4
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	管路土留工数量計算表より	29.40	m	29.4
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m		1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m		1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	１段	管路土留工数量計算表より	55.75	m	55.8
		土留支保(軽量金属支保)撤去	１段	管路土留工数量計算表より	55.75	m	55.8
		土留支保(軽量金属支保)設置	２段	管路土留工数量計算表より	29.40	m	29.4

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）			単位	数量
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	管路土留工数量計算表より	29.40	m	29.4
		支保材賃料(腹起し)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ)			1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)			1.00	式	1.0
マンホール工（昼間（8時間））							
	組立マンホール工						
		組立1号レジンマンホール	レジン1号人孔材料表より		1.00	式	1.0
		内副管	飛散防止板	内副管工総括表より	1.00	式	1.0
マンホール工（夜間（8時間））							
	組立マンホール工						
		組立1号マンホール	組立1号人孔材料表及び1号マンホール底部工数量計算表より		1.00	式	1.0
		内副管	飛散防止板	内副管工総括表より	1.00	式	1.0
	小型マンホール工						
		小型マンホール	塩ビ製	塩ビ製小口径マンホール材料計算表より	1.00	式	1.0

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）		単位	数量
取付管およびます工（昼間（8時間））						
	管路土工					
		管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　1.69	m3	1.7
		管路掘削	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　2.52	m3	2.5
		管路埋戻	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　0.82	m3	0.8
		管路埋戻	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　1.64	m3	1.6
		発生土処理	4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　1.69	m3	1.7
		発生土処理	2t積	2.52　－　1.64　／　0.9　＝　0.70	m3	0.7
	ます設置工					
		ます（塩ビ製）	φ200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　4.00	箇所	4.0
	取付管布設工					
		取付管（塩ビ管）	φ100	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　4.00	箇所	4.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　4.00	m	4.0

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）					単位	数量
取付管およびます工（夜間（8時間））									
	管路土工								
		管路掘削	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			14.63		
			取付管⑩	歩道	0.7m*(1.2-0.08)m*3.2m*1箇所	＝	2.51		
			取付管⑪、⑫	歩道	0.7m*(1.2-0.08)m*3.3m*2箇所	＝	5.17		
			取付管⑬、⑭、⑮	歩道	0.7m*(1.2-0.08)m*3.0m*3箇所	＝	7.06		
					∑V	＝	29.37	m3	29.4
		管路掘削	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			3.78	m3	3.8
		管路埋戻	機械 BH0.28	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			7.27		
			取付管⑩	歩道	0.7m*(1.2-0.26-0.314)m*3.2m*1箇所	＝	1.40		
			取付管⑪、⑫	歩道	0.7m*(1.2-0.26-0.314)m*3.3m*2箇所	＝	2.89		
			取付管⑬、⑭、⑮	歩道	0.7m*(1.2-0.26-0.314)m*3.0m*3箇所	＝	3.94		
					∑V	＝	15.50	m3	15.5
		管路埋戻	人力	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			2.46	m3	2.5
		発生土処理	4t積	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			29.37	m3	29.4
		発生土処理	2t積	3.78	－ 2.46 ／ 0.9	＝	1.05	m3	1.1
	ます設置工								
		ます（塩ビ製）	φ200	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			6.00	箇所	6.0
	取付管布設工								
		取付管（塩ビ管）	φ100	汚水桝設置及び取付管工数量計算表より			6.00	箇所	6.0

数　量　計　算　書

市単独工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
		埋設標識テープ	W=150 2倍　　汚水桝設置及び取付管工数量計算表より　　21.70 取付管⑩　　歩道　3.2m*1箇所　＝　3.2 取付管⑪、⑫　　歩道　3.3m*2箇所　＝　6.6 取付管⑬、⑭、⑮　　歩道　3.0m*3箇所　＝　9.0 ΣL　＝　40.5	m	40.5
付帯工（昼間（8時間））					
	舗装版破砕工（本復旧）				
		舗装版切断	As　15cm以下 M50-2+35.0付近　M49-2付近　M49-2付近 6.0　+　6.0　+　4.6　＝　16.60	m	16.6
		舗装版破砕	As　15cm以下 別紙舗装工面積計算書より 313.6　＝　313.60	m2	313.6
		殻運搬	As殻 本管仮復旧 53.44　×　0.03　＝　1.60 取付管仮復旧 1.68　×　0.03　＝　0.05 本復旧 （ 313.6　－　53.44　－　1.68　）×　0.05　＝　12.92 計　14.57	m3	14.6
		殻処分	As殻　14.57	m3	14.6

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装版破砕工（本管・取付管）				
		舗装版切断	As　15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 133.60　+　取付管　4.80　＝　138.40	m	138.4
		舗装版破砕	As　15cm以下　BH0.28 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　53.44　+　取付管　1.68　＝　55.12	m2	55.1
		殻運搬	As　4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　2.67　+　取付管　0.08　＝　2.75	m3	2.8
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　2.67　+　取付管　0.08　＝　2.75	m3	2.8
	舗装復旧準備工（本復旧）				
		不陸整正	補足材　RC-40　平均t=1cm 別紙舗装工面積計算書より 313.6　＝　313.60	m2	313.6
	アスファルト舗装復旧工（本復旧）				
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=5cm 別紙舗装工面積計算書より 313.6　＝　313.60	m2	313.6

数　量　計　算　書

市単独工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装仮復旧工（本管・取付管）				
		下層路盤(歩道部)	再生砕石RC-40　t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　53.44　+　取付管　1.68　＝　55.12	m2	55.1
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13)　t=3 cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　53.44　+　取付管　1.68　＝　55.12	m2	55.1
付帯工（夜間（8時間））					
	舗装版破砕工（本復旧）				
		舗装版切断	As　15cm以下 M59-2付近 3.5　＝　3.50	m	3.5
		舗装版破砕	取付管仮復旧（ILB） 取付管⑩　0.70 × 3.2　＝　2.24 取付管⑪、⑫　0.70 × 3.3 × 2　＝　4.62 取付管⑬、⑭、⑮　0.70 × 3.0 × 3　＝　6.30 計　13.16	m2	13.2
		殻運搬	As殻　取付管仮復旧（ILB） 取付管⑩　(　0.70 × 3.2　)× 0.03　＝　0.07 取付管⑪、⑫　(　0.70 × 3.3 × 2　)× 0.03　＝　0.14 取付管⑬、⑭、⑮　(　0.70 × 3.0 × 3　)× 0.03　＝　0.19 計　0.40	m3	0.4

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		殻運搬（路面切削）	As殻 370.2 × 0.05 = 18.51	m3	18.5
		殻処分	As殻 0.40 + 18.51 = 18.91	m3	18.9
	舗装版破砕工（二次復旧）				
		掘削	29.35 ×(1.0 × 0.15 + 0.5 × 0.10) = 5.87		
			55.8 ×(1.0 × 0.15 + 0.2 × 0.10) = 9.49		
			19.0 ×(0.7 × 0.15 + 0.6 × 0.10) = 3.14		
			取付管（ILB）⑩ (0.70 × 3.2)× 0.08 = 0.18		
			取付管（ILB）⑪、⑫ (0.70 × 3.3 × 2)× 0.08 = 0.37		
			取付管（ILB）⑬、⑭、⑮ (0.70 × 3.0 × 3)× 0.08 = 0.50		
			計 19.55	m3	19.6
		発生土処理	= 19.55	m3	19.6
		舗装版切断	As 15cm以下 本管 114.50 + 取付管 38.00 = 152.50	m	152.5
		舗装版破砕	As 15cm以下 本管 取付管 55.8 × 1.2 + 29.35 × 1.5 + 19.00 × 1.3 = 135.69	m2	135.7
		殻運搬	As殻 29.35 ×(1.0 × 0.05 + 0.5 × 0.10) = 2.94		
			55.8 ×(1.0 × 0.05 + 0.2 × 0.10) = 3.91		
			19.0 ×(0.7 × 0.05 + 0.6 × 0.10) = 1.81		
			計 8.66	m3	8.7

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		殻処分	As殻　8.66	m3	8.7
	舗装版破砕工（本管・取付管）				
		舗装版切断	As　15cm以下 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管 170.30　+　取付管　38.00　＝　208.30	m	208.3
		舗装版破砕	As　15cm以下　BH0.28 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　85.15　+　取付管　13.31　＝　98.46	m2	98.5
		殻運搬	As　4t積 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　8.52　+　取付管　1.32　＝　9.84	m3	9.8
		殻処分	As 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　8.52　+　取付管　1.32　＝　9.84	m3	9.8
		インターロッキングブロック撤去	取付管（ILB）⑩　0.70　×　3.2　＝　2.24 取付管（ILB）⑪、⑫　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 取付管（ILB）⑬、⑭、⑮　0.70　×　3.0　×　3　＝　6.30 計　13.16	m2	13.2

数　量　計　算　書

市単独工事

レベル2 （工種）	レベル3 （種別）	レベル4 （細別）	レベル5 （規格及び数量）	単位	数量
	舗装復旧準備工（本復旧）				
		不陸整正	補足材　RC-40　平均t=1cm		
			取付管（ILB）⑩　0.70 × 3.2 ＝ 2.24		
			取付管（ILB）⑪、⑫　0.70 × 3.3 × 2 ＝ 4.62		
			取付管（ILB）⑬、⑭、⑮　0.70 × 3.0 × 3 ＝ 6.30		
			計　13.16	m2	13.2
	舗装復旧準備工（二次復旧）				
		不陸整正	補足材無し		
			本管　取付管		
			55.8 × 1.2 ＋ 29.35 × 1.5 ＋ 19.00 × 1.3 ＝ 135.69	m2	135.7
	アスファルト舗装復旧工（本復旧）				
		インターロッキングブロック舗装	取付管（ILB）⑩　0.70 × 3.2 ＝ 2.24		
			取付管（ILB）⑪、⑫　0.70 × 3.3 × 2 ＝ 4.62		
			取付管（ILB）⑬、⑭、⑮　0.70 × 3.0 × 3 ＝ 6.30		
			計　13.16	m2	13.2
		切削オーバーレイ	改質Ⅱ型密粒度As(20)　t=5cm		
			別紙舗装工面積計算書より		
			＝ 370.20	m2	370.2
		舗装目地復旧	t＝4cm		
			1.4 ＋ 3.5 ＝ 4.90	m	4.9
	アスファルト舗装復旧工（二次復旧）				
		上層路盤(歩道部)	粒度調整砕石　M-30　t=10cm		
			55.8 × 1.2 ＋ 29.35 × 1.5 ＋ 19.00 × 1.3 ＝ 135.69	m2	135.7

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
		基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20)　t=5cm 55.8　×　1.2　+　29.35　×　1.5　+　19.00　×　1.3　＝　135.69	m2	135.7
		表層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20)　t=5cm 55.8　×　1.2　+　29.35　×　1.5　+　19.00　×　1.3　＝　135.69	m2	135.7
	舗装仮復旧工（本管・取付管）				
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=23cm 取付管（ILB）⑩　0.70　×　3.2　＝　2.24 取付管（ILB）⑪、⑫　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 取付管（ILB）⑬、⑭、⑮　0.70　×　3.0　×　3　＝　6.30 計　13.16	m2	13.2
		下層路盤(歩道部)	RC-40　t=29cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　76.64　+　取付管　13.31　＝　89.95	m2	90.0
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As（13）　t=3cm 取付管（ILB）⑩　0.70　×　3.2　＝　2.24 取付管（ILB）⑪、⑫　0.70　×　3.3　×　2　＝　4.62 取付管（ILB）⑬、⑭、⑮　0.70　×　3.0　×　3　＝　6.30 計　13.16	m2	13.2
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As（13）　t=5cm 管路土工数量計算表及び汚水桝設置及び取付管工数量計算表より 本管　85.15　+　取付管　13.31　＝　98.46	m2	98.5

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）	単位	数量
	区画線工				
		溶融式区画線	実線W150　白 中央線　20.0 + 18.0 ＝ 38.00	m	38.0
		溶融式区画線	破線W150　白 道路中央線　3.0 × 4.0 ＝ 12.00	m	12.0
		溶融式区画線	矢印記号文字W150　白 矢印　6.3 × 2 ＝ 12.60 矢印　6.7 × 2 ＝ 13.40 矢印　9.2 × 1 ＝ 9.20 中心点三角　13.0 × 1 ＝ 13.00 計 48.20	m	48.2
仮設工（昼間（8時間））					
	交通管理工				
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	37.5
仮設工（夜間（8時間））					
	交通管理工				
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	77.7
共通仮設費					
	事業損失防止施設費				
		試掘調査	昼間　4.00	箇所	4.0

数　量　計　算　書

市単独工事

ﾚﾍﾞﾙ2 （工種）	ﾚﾍﾞﾙ3 （種別）	ﾚﾍﾞﾙ4 （細別）	ﾚﾍﾞﾙ5 （規格及び数量）				単位	数量
	技術管理費	試掘調査	夜間	φ1500ケーシング部（M52-3-1IP3,IP4）		3.00	箇所	3.0
		試掘調査	夜間	県道部		4.00	箇所	4.0
		試掘調査	夜間	インターロッキングブロック部		1.00	箇所	1.0
		土質等試験	コーン指数調査			1.00	式	1.0
		本管TV調査	昼間	内径800mm未満	管布設工数量計算表より	65.75	m	65.8
		本管TV調査	夜間	内径800mm未満	管布設工数量計算表より	81.55	m	81.6

単 位 数 量 計 算 書

細別	試掘調査	1.0箇所
規格	車道　W=1.5m　L＝1.0m　H=1.2m	当り

名称	算式	単位	数量
舗装版切断	(1.50 + 1.00) × 2 = 5.00	m	5.0
舗装版破砕	1.50 × 1.00 = 1.50	m2	1.5
殻運搬	1.50 × 0.05 = 0.08	m3	0.1
殻処分	0.08	m3	0.1
掘削(機械)	1.50 × 1.00 × 0.85 = 1.28	m3	1.3
掘削(人力)	1.50 × 1.00 × 0.30 = 0.45	m3	0.5
埋戻	1.50 × 1.00 × 1.17 = 1.76	m3	1.8
RC-40	流用土 (1.28 + 0.45) × 0.90 = 1.56		
	(1.76 − 1.56) × 1.20 = 0.24	m3	0.2
表層	再生密粒度As(13)　t=3cm 1.50 × 1.00 = 1.50	m2	1.5

細別	試掘調査	1.0箇所
規格	φ1500　H=1.5m	当り

名称	算式	単位	数量
舗装版切断	(1.50+0.2)×tan(22.5°)×8 = 5.63	m	5.6
舗装版破砕	(1.50+0.2)×tan(22.5°)×0.85×1/2×8 = 2.39	m2	2.4
殻運搬	2.39 × 0.10 = 0.24	m3	0.2
殻処分	0.24	m3	0.2
掘削(機械)	2.39 × 1.10 = 2.63	m3	2.6
掘削(人力)	2.39 × 0.30 = 0.72	m3	0.7
埋戻	2.39 × 1.45 = 3.47	m3	3.5
RC-40	流用土 (2.63 + 0.72) × 0.90 = 3.02		
	(3.47 − 3.02) × 1.2 = 0.54	m3	0.5
表層	再生密粒度As(13)　t=5cm　2.39	m2	2.4

単 位 数 量 計 算 書

細別	試掘調査			1.0箇所
規格	県道部　W=1.5m　L＝1.5m　H=1.5m			当り
舗装版切断	1.50 × 4 = 6.00	m	6.0
舗装版破砕	1.50 × 1.50 = 2.25	m2	2.3
殻運搬	2.25 × 0.10 = 0.23	m3	0.2
殻処分	0.23	m3	0.2
掘削(機械)	1.50 × 1.50 × 1.10 = 2.48	m3	2.5
掘削(人力)	1.50 × 1.50 × 0.30 = 0.68	m3	0.7
埋戻 (流用土)	1.50 × 1.50 × 1.45 = 3.26	m3	3.3
RC-40	流用土 (2.48 + 0.68) × 0.90 = 2.84		
	(3.26 − 2.84) × 1.20 = 0.50	m3	0.5
表層 t=5cm	再生密粒度As(13)　t=5cm 1.50 × 1.50 = 2.25	m2	2.3

細別	試掘調査			1.0箇所
規格	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ部　W=1.5m　L=1.5m　H=1.2m			当り
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去	1.50 × 1.50 = 2.25	m2	2.3
掘削(機械)	1.50 × 1.50 × 0.82 = 1.85	m3	1.9
掘削(人力)	1.50 × 1.50 × 0.30 = 0.68	m3	0.7
埋戻 (流用土)	1.50 × 1.50 × 1.17 = 2.63	m3	2.6
RC-40	(2.63 − 2.53 × 0.90)× 1.20 = 0.43	m3	0.4
表層 t=3cm	1.50 × 1.50 = 2.25	m2	2.3

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No. 1

路線	下流側（上段）									区	現況	仮復旧		掘	下 流 側	上 流 側	平　均	掘　削　（上段:素掘 下段:矢板）				
	上流側（下段）									間	厚	厚		削				機　械				人力
		ﾏﾝﾎｰﾙ	地盤高	流出高	流出	人孔深	流入高	流入	落差	距		表層	上層路盤	幅	埋 戻 高	埋 戻 高	埋 戻 高					
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	種　別			管径			管径		離	表層	基層	下層路盤		掘 削 深	掘 削 深	掘 削 深	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
			m	m	㎜	m	m	㎜	cm	m	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3
	M50-2	1号ﾚｼﾞﾝMH	7.540	5.782	150	1.758	6.587	150	80.5			3	0		0.81	1.25	1.030			45.85		
49	M49-1	塩ﾋﾞ MH	8.220	6.820	150	1.400				46.60	5	0	22	0.80	1.06	1.50	1.280	1.230				
	M49-1	塩ﾋﾞ MH	8.220	6.820	150	1.400	7.095	150	27.5			3	0		0.98	1.04	1.010			19.55		
49	M49-2	塩ﾋﾞ MH	9.290	8.105	150	1.185				20.20	5	0	22	0.80	1.23	1.29	1.260	1.210				
計										66.80									0.00	65.40	0.00	0.00
																			0.00	0.00	0.00	0.00
素堀・矢板計																			0.00	65.40	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No.2

路線	下流側（上段）	区	掘	埋戻し　（上段:素掘 下段:矢板）											
	上流側（下段）	間	削	管基礎(砕石基礎(RC-40))							埋戻土(RC-40)				
		距	幅				機　械			人力	機　械				人力
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	離		ﾏﾝﾎｰﾙ減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
	M50-2			0.450				12.21					25.13		
49	M49-1	46.60	0.80	0.200	45.95	0.356					0.674				
	M49-1			0.200				5.26					10.57		
49	M49-2	20.20	0.80	0.200	19.80	0.356					0.654				
							0.00	17.47	0.00	0.00		0.00	35.70	0.00	0.00
計		66.80					0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
素堀・矢板計							0.00	17.47	0.00	0.00		0.00	35.70	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

昼間　　No.3

路線	下流側（上段）	区間距離	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm								再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(13) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
49	M50-2 M49-1	46.60	93.20				0.80	37.28		1.86				37.28									37.28		
49	M49-1 M49-2	20.20	40.40				0.80	16.16		0.81				16.16									16.16		
計		66.80	133.60	0.00	0.00	0.00		53.44	0.00	2.67	0.00	0.00	0.00	53.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	53.44	0.00	0.00

管布設工数量計算表

昼間

内径　150　mm　PRP　No. 1

路線番号	マンホール番号	マンホール種別	平均掘削深	人孔間距離	ﾏﾝﾎｰﾙ控除長	管体延長	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 拡張ﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 貼付ﾀｲﾌﾟ	水替工	外副管工	内副管工
	下流側										
	上流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
	M50-2	1号ﾚｼﾞﾝMH					1				
49	M49-1	塩ﾋﾞ MH	1.280	46.60	0.65	45.95					1
	M49-1	塩ﾋﾞ MH									
49	M49-2	塩ﾋﾞ MH	1.260	20.20	0.40	19.80					
計				66.80	1.05	65.75	1				1

レジン１号人孔材料表

昼間 No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種 管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	削孔数	人孔ブロック 蓋 T-25	蓋 T-14	調整高	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	頂版 12	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	管取付壁 60	管取付壁 90	管取付壁 120	管取付壁 150	底版	FRP製梯子 30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360	390	420	450	480	副管
									下段:梯子付																																	
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	個
50路線より																																										
			PRP		75	6.857	107.5																																		
M50-2	7.540	5.782	150	1.758	150	6.587	80.5	1																																	1
計					削孔	PRP150 PRP200	1	1																																	1

塩ビ製小口径マンホール材料計算表（本管φ150㎜用）

昼間　No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	マンホール蓋(台座付)及び沈下防止板φ300 T-25	T-14	インバート ストレート起点 KT	ストレート中間 ST	曲点 L	合流	落差 立管一体型	自在継手 15°	落差インバート用支管	下水キャップ φ150
	m	m	mm	m	mm	m	cm	組	組	個	個	個	個	個	個	個	個
49路線より M49-1	8.220	6.820	PRP 150	1.400	150	7.095	27.5	1						1		1	
49路線より M49-2	9.290	8.105	PRP 150	1.185	150	8.105	0	1				1					
計								2				1		1		1	

内副管工総括表（本管φ150㎜用）

1.0 式

工　　種	細　目	計算式	数　量	単位
内副管工(1)	M50-2	TA200　点検孔付　落差		
		＝　0.805	1.000	個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　6.587　－　5.782　)-(　0.550　－　0.200　－　0.150 / 2　＋　0.150　)}/　0.500　＝　0.760	1.000	個
内副管工(2)		TA200　点検孔付　落差		
		＝		個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　－　)-(　－　－　＋　)}/　＝		個
内副管工(3)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(4)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(5)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(6)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(7)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(8)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(9)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(10)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
バッフル	TA200	点検孔付	1.000	個
〃	TB200		1.000	個
直管布設延長	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝　L=		m
副管用90°支管	φ１００		-1.0	個
カラー	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
副管固定金具	φ１００用	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
９０°曲管	φ１００		-1.0	個
ﾌﾞﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		m
下水キャップ	φ１００		-1.0	個

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　　No. 1

路線 番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	箇所数	取付管径	現況厚	仮復旧厚		掘削幅	本管土被り		平均掘削深	道路掘削延長	宅内掘削延長	道路部土工延長 （上段:本管掘削幅） 道路部延長 －本管掘削幅1/2	埋設標識シート	掘　削　（上段:素掘　下段:矢板）					
					表層	上層路盤		下流側	平均		本管～官民界	官民界～桝			深さ 道路部	機　械			人力	
				表層	基層	下層路盤		上流側							宅内	BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内
		箇所数	mm	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m3
16	M50-2				3	0		0.800					0.80		1.013		0.43			0.63
49	M49-1	1	100	5	0	22	0.70	1.250	1.025	1.063	1.00	1.00	0.60	1.00	0.900					
17,18,19	M49-1				3	0		0.970					0.80		1.000		1.26			1.89
49	M49-2	3	100	5	0	22	0.70	1.030	1.000	1.050	1.00	1.00	0.60	3.00	0.900					
計		4												4.00		0.00 0.00	1.69 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	2.52 0.00
素堀・矢板計														4.00		0.00	1.69	0.00	0.00	2.52

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　　No. 2

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	掘削幅	埋戻し　（上段:素掘　下段:矢板） 砂基礎 深さ	機械			人力		埋戻土(RC-40) 深さ	機械			人力	流用土 人力
				BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内	(道路部)	BH0.13	BH0.28	BH0.45		
		m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
49	M50-2 M49-1	0.70	0.314		0.13			0.21	0.499		0.21			0.41
49	M49-1 M49-2	0.70	0.314		0.38			0.63	0.486		0.61			1.23
計				0.00 0.00	0.51 0.00	0.00 0.00		0.84 0.00		0.00 0.00	0.82 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1.64 0.00
				0.00	0.51	0.00		0.84		0.00	0.82	0.00	0.00	1.64

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

昼間　No.3

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） ﾏﾝﾎｰﾙ番号	道路掘削延長	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
			As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm								再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(12) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
49	M50-2 M49-1	0.60	1.20				0.70	0.42		0.02				0.42									0.42		
49	M49-1 M49-2	0.60	3.60				0.70	1.26		0.06				1.26									1.26		
		1.20	4.80	0.00	0.00	0.00		1.68	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	1.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.68	0.00	0.00

舗 装 工 面 積 計 算 書

昼間　　No.１／１

舗装版破砕・不陸整正・表層

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: No. 1　＋ 4.10 至: No. 2	35.90	5.00 4.60	172.3	49路線
自: No. 2 至: No. 2　＋ 31.40	31.40	4.60 4.40	141.3	49路線
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計	67.30		313.6	

舗装版破砕・不陸整正・表層

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計				
計	67.30		313.6	

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　No.1

路線番号	マンホール番号	マンホール種別	地盤高	流出高	流出管径	人孔深	流入高	流入管径	落差	区間距離	現況厚 表層	仮復旧厚 表層/基層	仮復旧厚 上層路盤/下層路盤	掘削幅	下流側 埋戻高/掘削深	上流側 埋戻高/掘削深	平均 埋戻高/掘削深	掘削（上段:素掘 下段:矢板） 機械 深さ	機械 BH0.13	機械 BH0.28	機械 BH0.45	人力
下流側（上段）/上流側（下段）			m	m	㎜	m	m	㎜	cm	m	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3
	M52-2-1	1号 MH	6.990	3.990	150	3.000	4.745	150	75.5			5	0		2.01	1.99	2.000					
52-1	M52-1-1	1号 MH	7.060	4.833	150	2.227				29.40	10	0	29	0.90	2.35	2.33	2.340	2.240		59.27		
	M52-1-1	1号 MH	7.060	4.833	150	2.227	5.222	150	38.9			5	0		1.60	1.55	1.575					
52-1	M52-1-2	1号 MH	7.090	5.301	150	1.789				26.40	10	0	29	0.90	1.94	1.89	1.915	1.815		43.12		
	M52-2-1	1号 MH	6.990	3.990	150	3.000	5.061	150	107.1			5	0		1.69	1.54	1.615					
59	M59-1	1号 MH	6.850	5.077	150	1.773				5.35	10	0	29	0.90	2.03	1.88	1.955	1.855		8.93		
	M59-1	1号 MH	6.850	5.077	150	1.773	5.097	150	2.0			5	0		1.52	1.40	1.460					
59	M59-2	1号 MH	6.810	5.169	150	1.641				24.00	10	0	29	0.90	1.86	1.74	1.800	1.700		36.72		
																			0.00	0.00	0.00	0.00
計										85.15									0.00	148.04	0.00	0.00
素堀・矢板計																			0.00	148.04	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No.2

路線	下流側（上段）	区	掘	埋戻し　（上段:素掘 下段:矢板）											
	上流側（下段）	間	削	管基礎(砕石基礎(RC-40))							埋戻土(RC-40)				
		距	幅				機　械			人力	機　械				人力
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	離		ﾏﾝﾎｰﾙ減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45		深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	
		m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3
	M52-2-1			0.450											
52-1	M52-1-1	29.40	0.90	0.450	28.50	0.356		8.59			1.644		43.50		
	M52-1-1			0.450											
52-1	M52-1-2	26.40	0.90	0.450	25.50	0.356		7.68			1.219		28.96		
	M52-2-1			0.450											
59	M59-1	5.35	0.90	0.450	4.45	0.356		1.34			1.259		6.06		
	M59-1			0.450											
59	M59-2	24.00	0.90	0.750	22.80	0.356		6.87			1.104		23.85		
							0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
計		85.15					0.00	24.48	0.00	0.00		0.00	102.37	0.00	0.00
素堀・矢板計							0.00	24.48	0.00	0.00		0.00	102.37	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No.3

路線	下流側（上段）	区間距離	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=29cm								再生密粒度As(13) t=3cm	再生密粒度As(13) t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
52-1	M52-2-1 M52-1-1	29.40	58.80				1.00	29.40		2.94					26.46									29.40	
52-1	M52-1-1 M52-1-2	26.40	52.80				1.00	26.40		2.64					23.76									26.40	
59	M52-2-1 M59-1	5.35	10.70				1.00	5.35		0.54					4.82									5.35	
59	M59-1 M59-2	24.00	48.00				1.00	24.00		2.40					21.60									24.00	
計		85.15	170.30	0.00	0.00	0.00		85.15	0.00	8.52	0.00	0.00	0.00	0.00	76.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	85.15	0.00

管布設工数量計算表

夜間

内径　150　mm　PRP　No. 1

路線番号	マンホール番号	マンホール種別	平均掘削深	人孔間距離	ﾏﾝﾎｰﾙ控除長	管体延長	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 拡張ﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ	ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手 貼付ﾀｲﾌﾟ	水替工	外副管工	内副管工
	下流側										
	上流側		m	m	m	m	個	個	日	箇所	箇所
	M52-2-1	1号 MH					1				
52-1	M52-1-1	1号 MH	2.340	29.40	0.90	28.50	1				1
	M52-1-1	1号 MH					1				
52-1	M52-1-2	1号 MH	1.915	26.40	0.90	25.50	1				
	M52-2-1	1号 MH					1				
59	M59-1	1号 MH	1.955	5.35	0.90	4.45	1				1
	M59-1	1号 MH					1				
59	M59-2	1号 MH	1.800	24.00	0.90	23.10	1				
計				85.15	3.60	81.55	8				2

管路土留工数量計算表（本管リブφ150㎜用）

夜間　　No. 1

路線	ﾏﾝﾎｰﾙ 種別	区間	掘削深	平均掘削深	掘削幅	軽量鋼矢板建込・引抜工						軽量鋼矢板						軽量金属製支保工								
		距離																1 段　2.0 m未満			2 段　2.0 m以上			3 段　3.5 m以上		
番号	下流側（上段）					H=1.5m以下	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=3.8m以下	L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=	W=0.90	W=	W=
	上流側（下段）	m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
52-1	M52-2-1		2.350																							
	M52-1-1	29.40	2.330	2.340	0.90			29.40							29.40						29.40					
52-1	M52-1-1		1.940																							
	M52-1-2	26.40	1.890	1.915	0.90		26.40							26.40				26.40								
59	M52-2-1		2.030																							
	M59-1	5.35	1.880	1.955	0.90		5.35							5.35				5.35								
59	M59-1		1.860																							
	M59-2	24.00	1.740	1.800	0.90		24.00						24.00					24.00								
計		85.15					55.75	29.40					24.00	31.75	29.40			55.75			29.40					

組立１号人孔材料表

夜間　No. 1

人孔番号	計画地盤高	流出管 管底高	流出管 管種 管径	人孔深	流入管 管径	流入管 管底高	流入管 落差	削孔数	人孔ブロック（足掛金物付） 蓋 T-25 下段:梯子付	蓋 T-14	調整高	調整リング 5	調整リング 10	調整リング 15	床版斜壁 15	斜壁 30	斜壁 45	斜壁 60	直壁 30	直壁 60	直壁 90	直壁 120	直壁 150	直壁 180			管取付壁 底版付 60	管取付壁 底版付 90	管取付壁 底版付 120	管取付壁 底版付 150	管取付壁 底版付 180			底版	副管
	m	m	mm	m	mm	m	cm	個	組	組	mm	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個			個	個	個	個	個			個	個
52-1路線より M52-1-1	7.060	4.833	PRP 150	2.227	150	5.222	38.9	1	1		37			1		1															1				
52-1路線より M52-1-2	7.090	5.301	PRP 150	1.789	100	5.321	2.0	1	1		49			1			1												1					
59路線より M59-1	6.850	5.077	PRP 150	1.773	100 150	5.097 5.097	2.0 2.0	2	1		33			1			1												1					
59路線より M59-2	6.810	5.169	PRP 150	1.641	100	5.189	2.0	1	1		51			1		1													1					
M52-2-1								2																											
計					削孔	VU100 PRP150	3 4	7	3 1		170			4		2	2												3		1				

内副管工総括表（本管φ150㎜用）

1.0 式

工　　種	細　目	計算式	数　量	単位
内副管工(1)	M52-2-1	TA200　点検孔付　落差		
		＝　0.755	1.000	個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　4.745　－　3.990　)-(　0.550　－　0.200　－　0.150 / 2　＋　0.150　)}/　0.500　＝　0.660	1.000	個
内副管工(2)	M52-2-1	TA200　点検孔付　落差		
		＝　1.071	1.000	個
		TB200　流入高　流出高　TA200(D)　TA200(E)　流入管径/2　流出管径　TB200(D)-50		
		＝{(　5.061　－　3.990　)-(　0.550　－　0.200　－　0.150 / 2　＋　0.150　)}/　0.500　＝　1.292	1.000	個
内副管工(3)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(4)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(5)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(6)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(7)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(8)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(9)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
内副管工(10)		直管延長＝(　流入高　－　流出高　)-　流入管肉厚　－ 副管用90°支管　－　流出高+2cm　－　90°曲管長　－　支管径/2　落差	直管延長	
		＝(　－　)-　－　－　－　－		m
	路線より	布設延長＝　副管用90°支管　＋　直管延長　＋　90°曲管長　×　2	布設延長	
		＝(　＋　＋　×		m
バッフル	TA200	点検孔付	2.000	個
〃	TB200		2.000	個
直管布設延長	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝　L=		m
副管用90°支管	φ１００			個
カラー	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
副管固定金具	φ１００用	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		個
９０°曲管	φ１００			個
ﾌﾞﾚｰｼｴﾝﾄﾞ直管	φ１００	＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＋　＝		m
下水キャップ	φ１００			個

1　号マンホール底部工数量計算表

夜間　　No. 1

総マンホール数		4 箇所		平均管内径	133 mm	
モルタル上塗り厚さ　　t =		2 cm	単位数量	箇所数	数量	合計数量
名称	規格	形態				
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.170	袋 4.250	袋 4.250
砕石基礎	砕石基礎 ＲＣ－４０	cm 施工厚　20	0.209	4	0.836	m3 0.84
インバート コンクリート						
	モルタル上塗り量	―○	0.670			上塗り量
	コンクリート量		0.134			
	モルタル上塗り量	―○―	0.704	3	2.112	m2
	コンクリート量		0.129	3	0.387	2.85
	モルタル上塗り量	―○―	0.739	1	0.739	コンクリート量
	コンクリート量		0.125	1	0.125	
	モルタル上塗り量	―○―	0.773			m3
	コンクリート量		0.121			0.51

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　　No. 1

路線 番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	箇所数	取付管径	現況厚	仮復旧厚		掘削幅	本管土被り		平均掘削深	道路掘削延長	宅内掘削延長	道路部土工延長 (上段:本管掘削幅) 道路部延長 －本管掘削幅1/2	埋設標識シート	掘　削　（上段:素掘　下段:矢板）					
															深さ	機　械			人力	
					表層	上層路盤		下流側	平均		本管～官民界	官民界～桝			道路部					
				表層	基層	下層路盤		上流側							宅内	BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内
		箇所数	mm	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m3	m3	m3	m3	m3
10	M52-2-1				5	0		2.090					0.90		1.100		1.35			0.63
52-1	M52-1-1	1	100	10	0	29	0.70	2.070	2.080	1.200	2.20	1.00	1.75	2.20	0.900					
11,12	M52-1-1				5	0		1.690					0.90		1.100		10.16			1.26
52-1	M52-1-2	2	100	10	0	29	0.70	1.640	1.665	1.200	7.05	1.00	6.60	14.10	0.900					
13,14,15	M59-1				5	0		1.600					0.90		1.100		3.12			1.89
59	M59-2	3	100	10	0	29	0.70	1.490	1.545	1.200	1.80	1.00	1.35	5.40	0.900					
計		6												21.70		0.00 0.00	14.63 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	3.78 0.00
素堀・矢板計														21.70		0.00	14.63	0.00	0.00	3.78

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　　No. 2

路線番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	掘削幅	埋戻し　（上段:素掘　下段:矢板） 砂基礎 深さ	機械 BH0.13	機械 BH0.28	機械 BH0.45	人力 道路部	人力 宅内	埋戻土(RC-40) 深さ (道路部)	機械 BH0.13	機械 BH0.28	機械 BH0.45	人力	流用土 人力
		m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m	m3	m3	m3	m3	m3
52-1	M52-2-1 M52-1-1	0.70	0.314		0.37			0.21	0.546		0.67			0.41
52-1	M52-1-1 M52-1-2	0.70	0.314		2.77			0.42	0.546		5.05			0.82
59	M59-1 M59-2	0.70	0.314		0.85			0.63	0.546		1.55			1.23
計				0.00 0.00	3.99 0.00	0.00 0.00		1.26 0.00		0.00 0.00	7.27 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	2.46 0.00
				0.00	3.99	0.00		1.26		0.00	7.27	0.00	0.00	2.46

汚水桝設置及び取付管工数量計算表

夜間　No.3

路線	下流側（上段）	道路掘削延長	舗装切断				舗装幅	舗装版取壊						仮復旧											
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層		
			t=15cm	t=15cm	t=15cm	t=15cm		t=15cm	t=15cm	処分	t=15cm	t=15cm	処分	再生砕石RC-40	再生砕石RC-40								再生密粒度As(13)	再生密粒度As(13)	
番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号		以下	超	以下	超		以下	超		以下	超		t=22cm	t=29cm								t=3cm	t=5cm	
		m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
52-1	M52-2-1 M52-1-1	1.75	3.50				0.70	1.23		0.12					1.23									1.23	
52-1	M52-1-1 M52-1-2	6.60	26.40				0.70	9.24		0.92					9.24									9.24	
59	M59-1 M59-2	1.35	8.10				0.70	2.84		0.28					2.84									2.84	
		9.70	38.00	0.00	0.00	0.00		13.31	0.00	1.32	0.00	0.00	0.00	0.00	13.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13.31	0.00

舗 装 工 面 積 計 算 書

夜間　　No.１／１

切削オーバーレイ

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: No. 0 至: No. 0 ＋ 17.90	17.90	3.50 3.60	63.5	59路線
自: No. 0 ＋ 17.90 至: No. 1	22.10	5.00 5.30	113.8	59路線、52-1路線
自: No. 1 至: No. 1 ＋ 36.40	36.40	5.30 5.30	192.9	52-1路線
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計	76.40		370.2	

測　　点	距離（ｍ）	幅（ｍ）	面積（㎡）	備　　考
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
自: 至:				
小　　計				
計	76.40		370.2	

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仕様関係	☑ 共通の仕様	☑ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 ☑ 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用 ☑ 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 ☑ 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 ☑ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成３１年３月)（一部改正：令和６年９月)を参考とする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案）　　編」を適用
	☐ 公園工事の仕様	☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和６年７月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和６年５月）に準ずること。 ☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和６年７月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和６年５月）に準ずること。
	☑ その他（　　）	☑ その他（　前金払の支払い申請は令和７年４月１日以降とする。　　）
工程関係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：　　）	☐ 調整項目（　☐ 資材等の流用　☐ 仮設及び工事用道路等の調整　☐ 建設機械等の調整 ☐ 施工順序の調整　☐ その他（　　）　☐ 別途協議　）
	☑ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☐ 制限する工種名（　　）　施工時期及び施工時間（　　） 施工方法（　　） ☑ 工種（　全工種　）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☐ 工種（　　）について、事前に（　　）と立会を行い、確認後、施工すること。
	☐ 工期	☐ 工期は、繰越手続きが完了後、（　　年　　日）　までに変更します。
	☐ 他機関との協議が未完了	☐ 協議が必要な機関名（　　）　協議完了見込み時期（　　）
	☐ 占用物件との工程調整の必要あり	☐ 占用物件名（☐ 電気　☐ 電話　☐ 水道　☐ ガス　☐ その他（　　）））
	☑ 支障物件の移設	☑ 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	☑ 地下埋設物等の損害	☑ 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講じること。
	☑ 官公庁への手続き等	☑ 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	☑ 通学路確認	☑ 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	☐ 部分使用	☐ 部分使用箇所（　　） ☐ 部分使用時期（　　） ☐ 部分使用目的（　　）
	☐ 部分引渡し	☐ 部分引渡し指定部分（　　） ☐ 部分引渡し時期（　　）
	☐ その他（　　）	☐ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津　　市
令和6年12月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
用地関係	□ 用地補償物件の未処理箇所あり	□ 未処理箇所（ □ 別添図等　□ No.　～No.　□ 別途協議 ） □ 完了見込み時期（ □ 令和　年　月頃　□ 別途協議 ）
	□ 仮設ヤードの有無	□ 仮設ヤード（ □ 官有地　□ 民有地　□ その他（　）　□ 別途協議 ） □ 仮設ヤード使用期間（　） □ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝　km） □ 使用条件・復旧方法（　）
	□ その他（　）	□ その他（　）
公害対策関係	☑ 施工方法の制限あり	☑ 制限項目　（ □ 騒音　□ 振動　□ 水質　□ 粉じん　☑ 排出ガス　□ その他（　）） ☑ 施工方法等（ □ 指定工法名（　）　□ その他（　）　☑ 別途協議 ） □ 施工時期　（　）
	☑ 事業損失防止に関する調査あり	☑ 調査項目　（ □ 騒音測定　□ 振動測定　□ 水質調査　□ 近接家屋の事前調査　□ 近接家屋の事後調査 □ 地盤沈下測定　□ 地下水位等の測定　☑ その他（ 試掘調査 ）□ 別途協議 ） ☑ 調査方法　（ □ 別途資料　□ その他（　）　☑ 別途協議 ） □ 家屋調査は、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者（補助者を除く）は、調査対象物件に応じた建築士法第２条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	□ 地下水位低下工	□ ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	□ その他（　）	□ その他（　）
安全対策関係	☑ 近接施設等に対する制限	☑ 既存施設あり ・近接公共施設　（ □ 鉄道　☑ 電気　□ 電話　☑ 水道　☑ ガス　□ その他（　）） ・近接施設（ □ 擁壁（　）□ ブロック塀　□ 家屋　□ その他（　）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 □ 工法制限あり ・制限を受ける工種　（　） ・制限内容　（　）
	☑ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☑ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☑ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☑ 事故速報の提出	☑ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	☑ 掘削（床掘り）	☑ 図面に表記した掘削及び床掘ラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	☑ 作業後の現場確認	☑ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	□ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□ 安全防護施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　）　□ 別途協議 ） □ 保安要員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　）　□ 別途協議 ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津　市
令和6年12月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
安全対策関係	☑ 交通安全施設等の指定あり	☑ 交通安全施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　☑ 別途協議　） ☑ 交通誘導警備員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　☑ 別途協議　） □ 指定路線　☑ 指定路線以外 ☑ 交通誘導警備員の配置人員数 ☑ 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員　Ａ：　　人　Ｂ：　359 人 （注：交通誘導警備員Ａが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 □ 積上げによる算出 配置人員数（　人）　（うち交通誘導警備員Ａ（　人）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Ａが配置できない場合は変更の対象とする。） ☑ 交通誘導警備員の配置時間（　別途協議　） ☑ 交通誘導警備員の配置期間（　別途協議　） ☑ 交通誘導警備員配置の対象工種（　別途協議　）
	☑ 定期安全研修・訓練等	☑ 安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。 (1)安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2)当該工事内容等の周知徹底 (3)工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4)当該工事における災害対策訓練 (5)当該工事現場で予想される事故対策 (6)その他、安全・訓練等として必要な事項 ☑ 安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。 (1)工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画 (2)全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。 1)月当たり半日以上の時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目 2)資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法 3)現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法 4)KY及び新規入場者教育の方法 5)場内整理整頓の実施 6)その他安全に関する取組み
	☑ 安全巡視等	☑ 安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	☑ 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	☑ 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月１回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	☑ 新規入場者教育	☑ 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	☐ 建設発生土受入地の指定あり	☐ 受入地の条件（ ☐ 別途図面　☐ 運搬距離（Ｌ＝　km） ☐ 受入料金あり　☐ 受入料金なし　☐ 別途協議　☐ その他（　））
	☑ 建設発生土受入地未定	☑ 受入地未定につき別途協議する。（ ☑ 暫定運搬距離Ｌ＝ 8 km、 ☑ その他（建設発生土について、三重県建設副産物処理基準の第７条第３項のとおり処理するものとし、公有地となった場合は津市河芸町上野建設発生土処分場とする。）
	☑ 産業廃棄物の処理条件あり	☑ 産業廃棄物の種類　（ ☐ コン塊　☑ アス塊　☐ 木材　☐ 汚泥　☐ その他（　）） ☑ 産業廃棄物の処分地　（ ☑ 再生処分場（ アス殻 ）　☐ 最終処分場（　）　☐ 別添図書 ☐ その他（　）　☐ 別途協議 ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（　）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件　（　） ☑ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 ☑ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
	☑ 再生資源利用計画	☑ 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☑ 再生資源利用促進計画	☑ 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☑ 産業廃棄物税	☑ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
	☑ 産業廃棄物処理	☑ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 ☑ 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。
	☐ その他（　）	☐ その他（　）
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　）　☐ 別途協議 ） ☐ 使用中及び使用後の措置　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　）　☐ 別途協議 ） ☐ 用地及び構造　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　）　☐ 別途協議 ） ☐ 安全施設　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　）　☐ 別途協議 ）
	☐ その他（　）	☐ その他（　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
施工条件	☑ 施工	☑ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。 ☑ 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所に隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。 ☑ 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。 ☑ 受注者は、工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋲、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。 また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。 ☑ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	☑ 環境対策	☑ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☑ 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）は、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。
	□ 支援技術者	□ ⑴ 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検測を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第９条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。 ⑵ 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 ⑶ 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 ⑷ 本工事を担当する支援技術者については、監督員からその氏名を通知する。
	☑ 電子メールを活用した情報共有	☑ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。
	☑ デジタル工事写真の電子小黒板の使用	☑ デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	□ ＩＣＴ活用工事	□ 「ＩＣＴ活用工事（土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（小規模土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ 「ＩＣＴ活用工事（構造物工（橋梁上部））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
	☑ 週休２日モデル工事	☑ 「特記仕様書（土木工事編）（受注者希望型）」を適用 （津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休２日モデル工事の試行について」を参照） □ 「特記仕様書（土木工事編）（発注者指定型）」を適用 （津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休２日モデル工事の試行について」を参照）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津　　市
令和6年12月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
施工条件	☑ 熱中症対策	☑ 「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること。また、「気温の計測方法」「計測結果の報告方法」「具体的な熱中症対策の方法」について施工計画書に記載するとともに、熱中症対策実施後においては、実施状況について写真を添付して報告すること。
	□ 公園内工事	□ 公園利用者の安全確保につとめ、工事箇所に工事関係者以外が立ち入ることのないよう、注意して施工するものとする。
	□ 災害復旧	□ 工事用道路として使用する敷地は、施工期間中及び施工終了時に原形に復旧すること。また、地権者より制約条件、時間的制約等、要望された場合は、速やかに監督員に報告すること。 □ 本工事は、建設工事請負契約書の条項第３０条第４項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。
	□ 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□ 保管場所（　　）　期間（　　）　その他（　　）
	□ 現場発生品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　保管場所（　　）　その他（　　）
	□ 支給品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　引渡場所（　　） 時期（令和　　年　　月　　日）　その他（　　）
	☑ 現場密度の測定の指定あり	☑ 開削埋戻しの品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書　建設工事施工管理基準（案）品質管理　道路土工に準拠する）を行うこと。また、測定は、延長１００ｍ毎に測定することとし、測定位置は、埋戻し深さの１/２程度とする。また、測定頻度は１回(３試料)以上とし、縦断方向に３試料を測定すること。なお、測定費用は受注者の負担とする。 ☑ 立坑埋戻しの現場の品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書　建設工事施工管理基準（案）品質管理　道路土工に準拠する）を行うこと。また、埋戻し深さが５ｍ未満の立坑の試験位置は、埋戻し深さの１/２程度の位置及び埋戻し天端の２箇所とし、試験頻度は１回（３試料）以上とする。埋戻し深が５ｍ以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は３ｍにつき１回（３試料）以上とする。なお、費用は受注者の負担とする。
	☑ 砂基礎材料	☑ 砂基礎材の規格については、最大粒径20㎜以下、且つ0.075㎜ふるい通過質量百分率0～20％以下とする。
	☑ 埋戻し材料	☑ 【購入土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が埋戻し材料に適している場合は、監督員と協議し、流用土に変更する。 □ 【流用土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が流用土に適していない場合は、監督員と協議し、適した材料に変更する。
	☑ 公共ます	☑ 公共ます設置位置申請書等に基づき設置すること。また、施工前に必ず申請者及び使用者に設置位置等を再度確認し、承諾後に施工すること。 ☑ 申請者及び使用者より設置位置等の変更の申し出があった場合は、監督員に報告し、処理対応方法について、監督員の指示を受けること。 ☑ やむを得ず管止めとなる場合は、その理由を明確にし、申請者に説明するとともに監督員の承諾を得た後に管止めとする。また、管止めの位置がわかるようにピン等で表示するとともに本市指定の管止め調書に状況がわかる写真を添付し、監督員に提出すること。
	□ 盛土材等工事間流用あり	□ 運搬方法（　□ 受注者で運搬　□ 受注者以外で運搬　□ 別途協議　□ その他（　　）） □ 引渡場所（　□ 別添図等　□ 別途協議　□ その他（　　）） 数量（　　）　運搬距離（Ｌ＝　　km）
	☑ 現場パトロール	☑ 公共工事の品質確保の促進を図る目的として、津市政策財務部検査課において、施工状況の確認等現場パトロールを実施することがある。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
工事支障物件関係	□ 工事支障物件あり	□ 支障物件名　（　□ 鉄道　□ 電気　□ 電話　□ 水道　□ ガス　□ 有線　□ その他（　　）） □ 移設時期　（　□ 令和　　年　　月　頃　□ 別途協議） □ 防護　（　　）
	□ その他	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
監督の区分	☑ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	重点監督の場合　【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（　　） ※これ以外は、一般監督とする。
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　　）　☐ 別途協議　） ☐ 転用あり（　　回） ☐ 兼用あり（　　） ☐ その他（　　）
	☐ 水替工（締切排水工）	☐ 施工条件の指定なし ☐ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数：　　日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他（　　）
	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件　（ ☐ 別添図等　☐ その他（　　）　☐ 別途協議　） ☐ 施工方法（　　）
	☐ その他（　　）	☐ その他（　　）
再生材使用関係	☑ 再生材使用の指定あり	☑ 再生材の種類（ ☑ 再生Ａsコン　☐ 再生路盤材　☑ 再生クラッシャーラン　☐ 道路用盛土材　☐ 再生コン砂　） ☑ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更　☐ その他（　　）　☑ 別途協議　）
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（１購入先当たり１検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名：☐ 盛土材　☐ 埋戻し材　☐ サンドクッション材　☐ 上層路盤材　☐ コンクリート二次製品　☐ グレーチング　☐ その他（　　）） ☑ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名：　間伐材製工事用バリケード・看板・標示板　）
	☐ その他（　　）	☐ その他（　　）
コリンズ作成・登録	☑ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	☑ 建設副産物情報交換システム ☑ 建設発生土情報交換システム	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	☑ 工事完成報告書	☑ 工事完成報告書の提出部数は２部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル）に定められたものとする。
	☑ 完成写真	☑ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、３枚１組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数　２部　用紙サイズ：Ａ４）
	☑ 施工計画書（作業主任者）	☑ 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
提出書類	☑ 施工体制台帳	☑ 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	☑ 部分下請通知書	☑ 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	☑ 工事使用材料	☑ 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和６年７月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	☑ 本管ＴＶ調査結果	☑ 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果品をＤＶＤ－Ｒにて提出すること。なお、漏水等を発見した場合は、速やかに監督員に報告し、適切に処置すること。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
電 子 納 品	☑ 工事完成図書（工事写真含む） □ 電子納品対象外	☑ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 また、受注者が希望しない場合は監督員の承諾を得て、電子納品としないことができる。 電子媒体の提出部数は、（ ☑ ２部　□（　　）部）とする。 ☑ 三重県ＣＡＬＳ電子納品運用マニュアル（令和　　６年　７月改訂）を適用
薬液注入関係	□ 薬液注入工法等の指定あり	□ 設計条件（　　）　工法区分（　　）　材料種類（　　）　施工範囲（　　） □ 削孔数量（　　）　注入量　（　　）　その他　（　　）
	□ 提出書類あり □ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	□ 工法関係（　　）　材料関係（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
社会保険等未加入対策	☑ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☑ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	☑ 法定福利費を明記した標準見積書の活用	☑ 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。 （津市ＨＰ「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
配慮依頼事項	☑ 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	☑ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	☑ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用	☑ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	☑ 建設機械、機器等の借入れ	☑ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	☑ 使用人等において市民の活用	☑ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	☑ 特例監理技術者の設置	☑ 本工事は、建設業法第２６条第３項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書［特定管理技術者等の配置］に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
時間外労働の上限規制の適用	□ 時間外労働の上限規制の適用	□ 本工事は、労働基準法第１３９ 条第１項「災害時における復旧及び復興の事業」に該当する工事である。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津　　市
令和6年12月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目		明　　示　　事　　項		条　　件　　及　　び　　内　　容
津市公契約条例	☑	津市公契約条例に関する特記	☑	締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1　受注者の責務 ⑴　関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 ⑵　受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 ⑶　受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 ⑷　受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 ⑸　受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 ⑹　受注者等は、条例第７条第１項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2　公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 ⑴　条例第７条第１項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 ⑵　条例第８条第１項の規定による命令に従わないとき。 ⑶　条例第８条第２項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 ⑷　⑴から⑶に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 ⑸　特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。
	☑	労働環境の確保に係る誓約事項	☑	津市公契約条例（以下「条例」という。）第６条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1　津市公契約条例施行規則第８条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2　関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3　条例第７条第１項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4　労働者が条例第９条第１項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5　労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6　労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7　市長等が行う施策に協力すること。
暴力団等の不当介入の排除等	☑	暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	☑	締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1　受注者の義務 ⑴　契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 ⑵　暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 ⑶　暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 ⑷　本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 ⑸　捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 ⑹　受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津　　市
令和6年12月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項		条　　件　　及　　び　　内　　容
暴力団等の不当介入の排除等			2　入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 ⑴　入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 ⑵　上記１受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3　契約等の解除 ⑴　暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	☑	建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	☑ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1　建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2　契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後１ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として４０日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3　共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」１～４によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」２又は３によることが望ましいが、これにより難い場合は「考え方」１とし、契約金額（税込）の１０００分の１．７以上を目途とすること。 4　共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。 5　工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため，必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。 6　建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下　CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は，カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また，CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し，就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の地元調整	☑	津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	☑ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1　趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2　発注者及び受注者の責務 ⑴ 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 ⑵ 上記⑴以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議の上適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項		条　　件　　及　　び　　内　　容	
津市工事請負の地元調整				3　定義 ⑴「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。 ⑵「不当要求行為等」とは、 ア　正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ　暴力行為、脅迫行為 ウ　正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ　粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ　下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ　アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為 ⑶「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4　工事説明の進め方 ⑴ 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 ⑵ 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 ⑶ 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 ⑷ 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 ⑸ 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 ⑹ 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。 5　不当要求行為等 ⑴ 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成１８年１月１日規則第６号）第４条第１項第２号に規定する部次長、同条第２号の２項に規定する局次長、同条第２項に規定する所長及び同条第５項第２号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 ⑵ 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 ⑶ 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。
その他	□	その他（　　）	□	その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

工期算定書

工期の算定には、施工に必要な実働日数以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	:	30	日
後片付け期間	:	20	日
雨休率※	:	0.86	
その他作業不能日	:	0	日

※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数
（雨休率＝(休日数＋天候等による作業不能日)／実働可能日数）

休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

天候等による作業不能日は、以下を見込んでいる。

イ）１日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日

ロ）８時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数